

令和 7 年度使用中学校の教科用図書
研究委員会報告書

令和 6 年 7 月

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	国語	
発行者番号・略称				教科用図書番号
2 東書				1年
				2年
				3年
				002-72
				002-82
				002-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、3年間を見通して定着を図れる構成である。学習のポイントやヒントが示されているため、生徒にわかりやすくなっている。「見通す」「考えをもつ」「振り返る」など、学習の流れが分かるように配慮されていて、「考える力」の育成が期待できる。新出漢字は、教科書の下段に出てきて、読み方も分かるようになっている。
- ② 「言葉の力」や「広がる言葉」で、おさえておきたい力を身につけられるようになっている。出題数が多く、知識・技能を身につけるための工夫がされている。ただ、説明がもう少し詳しく書いていると、わかりやすいと感じた。
- ③ 読書案内や、教材に関連する図や写真などを入れていて、生徒が学びに向かうための工夫がされている。「広がる言葉」で、「短文を作ろう」などの問題があったり、二次元コードがついていて、読み取ると、資料が見え、理解が深められるようになっていたり生徒が主体的に学習に取り組めるようにされている。
- ④ 未来を生きるために「未来への扉」として九つのテーマが設定されている。「SDGs」の観点から、そのテーマに沿った題材が各学年に設定されていて、現代社会のさまざまな課題について考えが深められるようになっている。
- ⑤ 地域理解の観点から、「方言と共通語」や「地域の魅力」の紹介文など、自分の地域に目を向けた題材が取り上げられている。資料編では、さまざまな古典作品が取り上げられていて、我が国の伝統作品に触れられるようになっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

全体の分量は、各学年で適切であり、内容もバランスよくなっている。難しい言葉や新出漢字は、教科書下段に書かれていて、読みやすくなっている。「読書案内」などで本の紹介がされていたり、二次元コードを読み取ると関連する動画や資料があったりと主体的に学習に取り組めるようになっている。

(3) 総合所見

全体的に分量も適切である。図やイラストなどがあって、読みやすくなっている。「言葉の力」「広がる広場」などで学んだことを振り返ることができたり、新しい知識が身につけられたりするようになっている。「未来を考える本」や「読書案内」など本に親しみがもてるように工夫されている。ただ、指導者にも、学習者にも、言語事項に関する説明が、図やイラストではなく文章の形でもう少し必要だと感じる部分があった。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	国語			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
15 三省堂				1年	2年	3年
				015-72	015-82	015-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 教材ごとに「学びの道しるべ」で学習活動が明快に示されていて学習内容が捉えやすい。「読み方を学ぼう」で読む時のポイントをイラストや図解で示し、教材を使って3年間で22種類の「読み方」に触れられ、読む力を伸ばせる。資料編「学習用語辞典」「語彙の広がり」では基本的な用語・語彙を学べる。
- ② 「抽象化」「比較」「分類」など9種類の「思考の方法」をチャート(図)を使って教材ごとに繰り返し示し、考えを深めるための知識・技能が身につくよう工夫されている。レポートや創作文・詩歌などの書き方が箇条書きにまとめられており、生徒が表現する学習に取り組みやすくなっている。
- ③ 教材の終わりの「学びを広げる」で発展的な問題に取り組めるようになっている。「私の本棚」や著名人の「私の読書体験」、資料編「読書の広場」では豊富な本の紹介がなされ、主体的に読書に取り組めるよう工夫されている。「コラム」には生徒が興味を持ちそうな教材の発展的な話題が取り上げられており、日常生活に広げることができる。
- ④ 教材にまつわる「語彙を豊かに」で多くの語彙に触れることができ、言語感覚を磨くことができる。各学年に「情報を関連づける」単元が設けられており、漫画や図、グラフなどの資料、二つの論説文の比較など、さまざまな資料から情報を読み解き、活用する能力がつくように工夫されている。
- ⑤ 地域の「情報誌」や「防災訓練のリーフレット」を作って地域に発信する等の単元で、地域について調べたり、まとめたりする中で地域の良さや魅力に気づき、地域を愛し尊重する態度を養うことができる。資料編「社会生活に生かす」には社会生活に必要な「話す・聞く・書く」の基本的な知識が掲載されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

各単元の構成が、「読み方を学ぼう」で示されていて、学習内容が捉えやすい。本編と資料編で構成されており、漢字、読み物などの資料が豊富である。「日本文学名作集」では主要な作品の冒頭部分などがイラスト入りで紹介されていてわかりやすい。巻末に「二次元コード」の内容一覧が添えられていて、使用しやすい。

(3) 総合所見

「読み方を学ぼう」「思考の方法」の手法を使い、「学び方」にアプローチできるので、主体的に学習に取り組み、理解を深めることができる。日常生活につながる活動や生かせる資料が豊富で、豊かな言語生活を目指すことができる。資料編の内容が充実しており、探求的で深い学びが期待できる。中学生に人気の曲や著名人の声を取り入れていて、学ぶ意欲を喚起させる工夫をしている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	国語
発行者番号・略称			教科用図書番号
17 教出			1年
			2年
			3年
			017-72
			017-82
			017-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各単元の始めに「学びナビ」・「ヒント」という項目があり、生徒が学習活動のイメージをつかみやすくなるよう工夫されている。各学年で学習する新出漢字について、新出ページ数、読み方と用例、画数、部首、筆順などが記載され、巻末に一覧表の形で提示されているので、生徒が漢字学習に利用しやすい。
- ② 話す聞く・書くなどの活動を伴う単元では、「学びを生かす」という項目が示されている。他教科への応用や日常生活との関連が例示され、活動の成果を実践しやすいよう工夫されている。巻末に「言葉の自習室」という資料集的な機能が付与されており、生徒の学習の利便性が向上している。
- ③ 補充的な学習の資料が「まなびリンク」として二次元コードで用意されており、生徒の自学自習に有効な手立てとなることが期待できる。各単元末に「広がる本の世界」という読書案内が1ページ確保されており、学習内容に関連した図書が10冊前後紹介されている。生徒の興味喚起や知識の拡充に役立つ資料となるよう工夫されている。
- ④ 「学びのチャレンジ」という項目が各学年に1回配当されており、資料を比較して読み解いたり、自分の考えを表現したりするスキルの向上に役立つと思われる。「総合（SDGs）」の単元では、現代社会の様々な課題に関連した複数の資料が示され、情報活用能力や課題解決能力の育成に役立つ演習課題となっている。
- ⑤ 1年生の言語教材「方言と共通語」、古典教材「昔話と古典」でともに「桃太郎」が採り上げられており、生徒の言語学習や古典学習への導入を円滑にする効果が期待できる。2年生の古典教材「敦盛の最期」は、岡山の古刹・誕生寺の開基でもある熊谷直実の出家を決意させた物語であり、地域理解の教材としての活用の可能性がある。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

各学年の巻末にすべての都道府県にゆかりの文学作品が紹介されている。本文の下や段組の中央に、行数を示す数字（5行おき）の間にも「・」（ドット）を記してあり、行数を数えやすくしてある。単元の数や配列が3年生のみ異なる部分があり、系統だった学習のまとめとはなっていない。

(3) 総合所見

総合「（SDGs）」の単元では、情報活用能力や課題解決能力の育成に役立つ演習課題が各学年で設定されている。「学びナビ」・「ヒント」という項目で、生徒が学習活動への見通しをもって取り組めるよう工夫されている。しかし、チャートなどで示されておらず、工夫が必要であると考えられる。思考の手助けとなるシンキングツール等が少なく、視覚的な支援があると更によいと思われる。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	国語	
発行者番号・略称				教科用図書番号
38 光村				1年
				2年
				3年
				038-72
				038-82
				038-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 1年次の巻頭ページには「言葉に会うために」が設定され、授業の中で言葉を扱う上での基本的なポイントが分かりやすくまとめられている。また、各題材で設定されている「学びの扉」では、「見通しをもつ」、「振り返る」の項目で「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の観点が示され、言語を扱うための基礎・基本的な知識、態度を定着するための工夫がなされている。
- ② 「言葉」「漢字」「文法への扉」の項目がバランスよく設定されており、知識技能の定着がなされるように工夫されている。各学年には「語彙ブック」が設定され、生徒が豊かな語彙を獲得する上で効果的である。巻頭には「思考の地図」として、思考を整理・深化するためのシンキングツールや、分析・検証の手順がまとめられており、生徒の思考力を高めるための工夫がされている。
- ③ 各題材に設定されている「つなぐ」では、発展的な学習への手がかりが示されている。また、各題材で「広がる読書」の項目が設定されており、学習した題材に関連する本への読書につながるための工夫がされている。巻末に設定されている「国語の力試し」では、「読む」「書く」「話す・聞く」項目ごとに身につけた力を活用して発展問題に取り組むことができるようになっている。
- ④ 「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」が設定されており、情報の整理の仕方、扱い方などについての学びに効果的である。また、各題材において、文章を読む上での読解方法や、文章を書く際、話したり聞いたりする際のポイントが、「学びのカギ」としてまとめられており、言葉を扱う能力の学びに大変効果的である。
- ⑤ 巻末の資料に「郷土ゆかりの作家・作品」が取り上げられている他、伝統芸能についても取り上げた資料が豊富であり、我が国の伝統的な言語文化への学びに効果的である。また、四季の詩歌も豊富で、日本の情緒についての学びにも大変効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

全体の分量が適切であり、学習内容もバランスよく各単元に配分されている。各学年の学習内容が系統だったものになっており、学年を追うごとに知識・技能が積み上がったり、既習の思考力・判断力・表現力を生かしながらさらに力を育成したりできるようになっている。生徒にとってわかりにくい用語や専門的な知識などは、欄外に簡潔な解説が設けられている。各題材には関連する資料が二次元コードで示され、ICTの活用もしやすい。

(3) 総合所見

各題材で、生徒が何を学ぶのかが明確に示されており、使用する学習者が自らの学びを自覚しやすいという長所がある。「学びのカギ」として、文章の論理や読解方法、言葉の扱い方など、国語科で指導する思考・判断・表現の仕方が明確に言語化・図式化して提示されており、指導者の立場から見ても学習者からの立場から見ても扱いやすい教科書である。また、「思考の地図」として、思考の整理・深化の仕方が示されている点も、生徒の思考力を高める上で効果的である。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	書写			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
2・東書				1年	2年	3年
				002 - 72		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のため、硬筆、毛筆ともに、学びやすさを考慮した簡明な筆遣いとなっている。行書の特徴的な動きを確かめることのできる字句により、書き方を効果的に学ぶことができるようになっている。
- ② 「書写活用ブック」でさまざまな書式の特徴と書き方を説明している。また、ノートの取り方やレポートの書き方の例もあり、日常の学習に知識・技能を生かしやすい。常用漢字表と人名用漢字表において、楷書と行書が示されている。
- ③ 文字を正しく整えて書くための知識・技能を系統的に記した「書写のかぎ」を示し、学習事項を明確に示しているので、主体的に学習に取り組みやすいようになっている。また、「書写テストに挑戦！」のページが各学年の終わりに設けられており、一年間の学習の確認ができる。
- ④ 「生活に広げよう」の単位では、話合いメモやポップなど、色々な場面で活用できるように身近なものを掲載し、問題発見・解決能力の育成に関わる内容が充実している。
- ⑤ 「文字といっしょに」を設け、文字の移り変わりやいろは歌などを幅広く取り上げ、伝統的な文化を紹介することで文字文化の理解が深まるようにしている。また、伝統的な用具・用材の説明が日本地図とともに示されており、わかりやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

知識・技能を系統的に整理し習得できるよう、発達段階に応じた各単元を設けている。各学年とも適切な単元数・分量で、硬筆・毛筆の学習を設定している。「書写のかぎ」に示された学習のポイントによって学ぶことが明確になり、自己評価につながりやすい。

(3) 総合所見

三年間を見通して、基礎基本の定着を図れる構成である。書き込みのページでは、教材文字を上、書き込み欄を下に配列し、正しく字形を書く練習をしやすい。また、常用漢字表とともに人名用漢字表もあり、作品づくりに活用できる。全体的に情報が多く、資料も充実しているが、資料が細やかすぎるため、既習事項と結びつけにくい単元がある。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	書写			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
15・三省堂				1年	2年	3年
				015 - 72		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、「書き方を学ぼう」で、具体的な字形例とともに、書き方のポイントが示されている。また、筆順の学習ページの説明が丁寧でわかりやすい。
- ② 各単元の目標は段階を追って適切に設定されている。「振り返ろう」では、単元を通して学んだことを確認し、自分の言葉でまとめる欄が設けられている。また、都道府県名のなぞり書きなど、日常生活と関連付けて、知識技能の定着を図る工夫が見られる。
- ③ 「書いて身につけよう」では、毛筆での学習を活用できるように、硬筆による書き込みページが設定されていて、補充的な学習や発展的な学習につながりやすくなっている。教科書教材を用いたなぞり書きのページもあり、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。
- ④ 資料編には、手紙だけでなく、願書やのし袋の書き方など数多く紹介されているため、身近な場面での情報活用能力の育成を図れるようになっている。また、解説動画の二次元コード一覧が示され、動画の資料も充実している。
- ⑤ 「文字文化の豊かさ」では、手書き文字や活字による伝え方の移り変わりや特徴、手書き文字の魅力や効果的に文字を書く必要性について考えられるようになっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

全学年とも系統的・段階的に教材を配列し、「本編」「資料編」の二部構成としている。学習指導要領に示された指導事項を網羅したうえで、無理なく学習計画が立てられる分量となっている。毛筆の学習から硬筆の学習へのつながりが明確で、書き込み練習のページも充実している。

(3) 総合所見

毛筆で学んだことを硬筆で活用できるように配列されており、基礎・基本が身につけやすい。ページの色分けによって、何を学ぶページなのか明確であり、三年間の学習の流れがわかりやすい。また、毛筆の用具が作られる工程や荷物の送り状、願書の書き方も示されるなど、資料が充実している。毛筆教材は本編に少なく、補助教材として複数の例を示しているが、文字が小さいため練習に生かしくい。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	書写
発行者番号・略称			教科用図書番号
17・教出			1年
			2年
			3年
			017 - 72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、「学習を生かして書く」という内容が単元末に設定されている。これにより、学んだ内容を他の字で確認することが多くできるよう構成されている。また、毛筆の単元では筆脈について図で視覚化されている。
- ② 「学習活動や日常生活に生かして書こう」では、話し合いの観点が簡潔にまとめられている。学習者はその観点を足がかりに自ら考え、表現しやすくなっている。また、他の教科や日常生活において活用できるように、単元ごとに「学習を生かして書く」という内容が設定されており、既習事項を活用して表現する力を高める効果が期待される。
- ③ 生徒が、主体的に学習に取り組むために、動画「まなびリンク」で筆の運びがわかる動画や、学習活動を進める際に活用できるワークシートをダウンロードすることができたり、竹取物語の現代語訳がまとめられていたりする二次元コードが示してある。
- ④ 「学習を生かして書く」では、新聞の工夫を探したり、レポートやポップ、手紙など、様々な種類の文字を使って表現したりする活動が取り入れられている。書く目的や必要に応じて効果的に伝える方法を考える学習活動を通して、問題発見、解決能力を高める効果が期待される。
- ⑤ コラムとして、文字の変遷、短冊と色紙について、建築と書の関連、偉人の文字などが多く取り上げられ、解説されている。日常生活と結びついた「文字文化」に触れる機会がある。また、書式の教室には、「エアメールの書き方」が示されており、日本だけでなく、他国の書式を学ぶことができる工夫がある。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

「楷書」、「楷書と仮名の調和」、「行書」と進み、特に行書では基本的な筆使いや点画の連続と省略が朱書き筆の動きでわかりやすくまとめられている。また手本に中心線と補助線があり、形がとりやすい。各単元に「学習を生かして書く」という項目があり、毛筆での学習を硬筆で行うこと、学習したことを日常生活や学校生活に生かすことができるようになっている。見開きで、手本と共に書き順や詩を書くときのポイントも掲載されているため、書きながら確認できるようになっている。また、手本も二文字が多く、取り組みやすい。

(3) 総合所見

見出しが学年ごとに色分けされ、三年間の学習の流れがわかりやすい。単元の流れが明確に示されており、学習者が主体的に学習しやすい構成になっている。また、「枕草子」や「走れメロス」など国語科の内容と結びつくように配慮されている。一年生から書写で習った内容を日常の学習に生かして書く活動が設定され、話し合いの活動の観点もがはっきりしているため、生徒自ら考え、判断する力も効果的に養うことができる。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	書写
発行者番号・略称			教科用図書番号
38・光村			1年
			2年
			3年
			038 - 72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着を図るために書き方のポイントをはじめに考えた後、「学びのカギ」で示された書き方を実際に書いて確かめる構成になっている。その後、教科書で学習した内容を別冊「書写ブック」で演習することで定着を図ることができる。
- ② 手書きのよさについて考える単元では、話し合う活動が設定され、対話のモデルがイラストを用いて示されている。それにより学習者が話し合い活動をイメージしやすくなる工夫がされている。しかし、実際に考える際には、ストーリーの誘導が強く、話し合いの自由度が制限されることが考えられる。
- ③ 見通しをもって学習や活動に取り組めるように、家庭学習などで活用できる別冊の「書写ブック」が付属しており、学習した文字の整え方を繰り返し演習し、書く力を身につけることができる。手本のページには、運筆を確認することができる動画を視聴することができる二次元コードが示されている。
- ④ 国語科との関連を図るために、国語科で扱われる教材が多く設定されている。また、「情報収集の達人になろう」では、学習の進め方とまとめ方の例が明確に示されている。メール文、プレゼンテーション資料などの書き方についてポイントが示されている。
- ⑤ 「全国文字マップ」、「多様な文字文化」などを用いて用具の製造工程や文字の役割や背景などが示されているため、伝統文化についてわかりやすく学習できる工夫がされている。また、準備や片付けなどで意識できるSDGsの取り組みが例示されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

一、二年生で書写の基本を身につけ、三年生から応用問題に取りかかる構成になっている。毛筆の学習を生かして硬筆で書く活動を多く取り入れ、「書写ブック」では、繰り返し練習、書写テスト、日常に役立つ書式などが示されている。毛筆の手本の端に書き順と筆先が朱で示された二色刷手本があり、書きながら確認できるようになっている。

(3) 総合所見

三年間の学習の流れがわかりやすく、見通しを立てやすい。B5版であり、机上で配置しやすい大きさである。各ページが情報量を抑えたシンプルな構成になっているため、基礎基本の定着などに別冊が必要であり、教材が二冊にまたがるため扱いが複雑になりやすい。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	歴史			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
2 東書				1年	2年	3年
				002-72	002-72	002-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章のはじめには、導入の活動紹介とともに小学校で学習したことばや時代の流れを確認するページが設けられている。また、単元を貫く「探求課題」と各小单元ごとの「探求のステップ」が掲載され見通しを持ってとりくめるようになっている。
- ② 各单元における統計やイラスト、写真などに対して、比較や注目すべきポイントなど読み取り方のヒントが記されている。単元で注目すべき歴史的事象に関連する資料が掲載されている。
- ③ 「チェック」は教科書に記載された語句の抜き出しが主であり、学習の整理に使用できるようになっている。「トライ」は自身で文章をまとめ説明するものが多く、授業のまとめとして使用できるようになっている。「もっと知りたい!」というコラムではより深掘りされた発展的な内容が掲載されている。
- ④ 各章末には「地域の歴史を調べよう」という設けられており、地域調査の手段や発表の仕方が取り上げられている。「スキル・アップ」という歴史の学習に欠かせない基礎的・基本的技能を身につけるコーナーにもなっており、細かな記載が見られる。
- ⑤ コラムや資料で取り上げられる情報は「人権」や「平和」、「技術」など見る視点がまとめられている。また、関連する地理や公民、他教科の教科書の内容も見ることができるようになっており、多角的な視点で見れるよう工夫されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代までP22～60、中世までP64～94、近世までP98～140、近現代までP144～270という割り当てである。時代ごとに色分けがされており、時代区分がわかりやすいように工夫されている。文章の漢字のルビは少なめ。既出語句に関しては他のページ数も記載されている。巻末に用語解説6ページ、人名さくいん2ページ、事項さくいん4ページとなっている。

(3) 総合所見

各章の導入部分で単元を貫く課題が設定され、事象を見る視点が掲載されているため、主体的に学習に取り組むことができる。写真やイラストが掲載されるなど、親しみやすい工夫がされている。関連する動画などに教科書からデジタル教材へ移行しやすいよう工夫がされている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	歴史			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
17・教出				1年	2年	3年
				017-72	017-72	017-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 小單元ごとに、「確認」「表現」のコーナーが設けられており、基礎的な学習の振り返り、学習内容を確認するためことができる。各章のはじめでは、時代の特徴を表すイラストや年表が掲載されている。
- ② 小單元ごとに、学習課題を考えるヒントとなる吹き出しが示されている。歴史学習の基本基本的な技能を身につけるための「歴史の技」「THINK!」や、資料を読み取るヒントとなる「TRY!」が設けてある。
- ③ 「歴史の窓」や「歴史をさぐろう」では補充的なコラムが掲載されており、学習内容を深めるための活動が設定されている。単元の最初にある二次元次元コードで関係サイトにアクセスすると、歴史的文化財のHPやクイズ、動画などを見ることができる。
- ④ 各章のまとめでは、学習内容に関する資料の読み取りや説明する言語活動が設定されている。「歴史学習の終わりに」、歴史的事象とSDGsの活動目標を関連付けて、現代の諸課題について考察することができる。
- ⑤ 「身近な地域の歴史を調べよう」では、「沖縄」「北海道」「建築物から時代の特徴を考える」などを例に、身近な地域を多角的・多面的に考察する手法を知ることができる構成になっている。「TRY!」の発問によって、考えを深めることができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代までP20～56、中世までP60～P92、近世までP96～140、近現代までP144～284という割り当てである。人名さくいんが3ページあり、事項さくいんが4ページある。各章のはじめに「学習の見通し」や各章節の問い、小單元ごとの学習課題が設定され、各節の終わりに「学習のまとめと表現」で三段階の章のまとめ活動が行われるようになっている。

(3) 総合所見

学習の見通しをもたせるための、単元の問いは、簡潔にかかれている。豊富な種類の資料やコラムが多い。中には二次元コードで資料にアクセスできるよう生徒の興味・関心を高めるような工夫がされている。また、岡山県に関する資料は少ないため、指導に工夫が必要である。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	歴史			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
4 6 帝国				1年	2年	3年
				046-72	046-72	046-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章のはじめには、導入資料とともに小学校で学習した内容と人物が年表によって表されている。「学習する時代の見通しをもとう」という欄には単元に対して予想をたてるようになっており、既習の事象から推測できるようになっている。
- ② 各単元における資料やイラストは見やすくまとめられており、資料についての説明が多く記載されている。「タイムトラベル」など見開き1ページの大きな資料などが多く、資料を見やすくする工夫がされている。
- ③ 「確認しよう」は教科書に記載された語句の抜き出しが主であり、「説明しよう」は自身で文章をまとめ説明する内容となっている。コラムの中でも分類分けがされており、「未来へ向けて」、「地域史」、「歴史プラス」、「人物」と分かれている。
- ④ 各章末には章のはじめで予想を立てたことに対して、振り返りを行うことができるようになっている。さまざまな考察や表現の方法が示されている。
- ⑤ 巻頭ページから本誌はSDGsと関連付けて考察できるようになっている。近現代学習後の「これからの社会を構想しよう」ではSDGsの視点から各時代を捉え直し、80年後の未来を構想する章が設定されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代までP16～60、中世までP63～102、近世までP105～158、近現代までP161～304という割り当てである。時代ごとに色分けがされており、時代区分がわかりやすいように工夫されている。文章の漢字にルビが多く振られている。既出語句に関しては他のページ数も記載されている。巻末に人名さくいん2ページ、事項さくいん3ページ、用語解説は二次元コードからデジタルコンテンツでみるようになっている。

(3) 総合所見

各章の導入部分から単元を貫く課題が設定されており、章末まで見通しをもって学習ができるように工夫されている。イラストや資料も見やすい工夫がされており、デジタル資料も豊富でわかりやすくまとめられている。SDGsの目標などを用いた課題解決について考察する活動が設定されている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	歴史			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
81 山川				1年	2年	3年
				081-72	081-72	081-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 小單元ごとの「ステップアップ」コーナーで、基礎的な学習内容を確認しながら、その内容をもとに考察する活動が設定されている。また、章扉で各時代に関係の深い、日本と世界の主な歴史的事象や資料が、年表とともに掲載されている。
- ② 小單元ごとに、写真やグラフ、コラムなどに関連して、「なぜ」「どのように」「どこが」「何が」などの視点から、歴史的事象の背景や要因を考察したり、資料に関して思考・判断する課題が示された「Qマーク」が設けられている。
- ③ 補充的資料となる「コラム」などが掲載され、「歴史へのアプローチ」では、コラムと資料とともに学習内容を深めるための学習課題が設定されている。関連動画や拡大画像にアクセスする二次元コードが示されている。
- ④ 各章にある「歴史を考えよう」では、時代ごとに取り上げた学習課題を話し合い、考察しながら学ぶ活動が設定されている。第7章のまとめでは、現代において解決すべき課題の分類例を示し、解決すべき課題と解決策について考察する活動が設定されている。
- ⑤ 「身近な地域を調べよう」や「地域からのアプローチ」では、東京都荒川区や金沢・広島などの都市を例に、名産品や文化財などの地域の物産や地図を比べるなど、身近な地域を調べる学習について示されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代までP14～61、中世までP62～101、近世までP102～153、近現代までP154～283という割り当てである。1ページあたりの情報量が多いため、文字のサイズが小さくなっている。そのため、コラム等の本文の周りの資料はより文字が小さくなっている。人名さくいんは2ページ、事項さくいんは3ページとなっているが、文字が小さい。

(3) 総合所見

資料やコラムが多く、その中には二次元コードで資料にアクセスできるよう生徒の興味・関心を高めるような工夫がされている。しかし、内容的には、1ページ当たりの情報量が多く、文字が小さいため、中学生にはやや難易度の高い記述が見られる。しかし、岡山県関連の記載が少ないため、指導の際には工夫が必要となる。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	歴史			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
116・日文				1年	2年	3年
				116-72	116-72	116-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「スキルup」のコーナーや小單元ごとの「確認・表現」基礎的な学習内容の確認とともに、技能習得の活動が掲載されている。また、学習のはじめには、小学校の学習内容と関連させた年表と、世界のうごきが分かる地図が掲載されている。
- ② 小單元ごとに、学習課題を考えるうえでヒントとなる吹き出しが示されていたり、見方・考え方が示されていたりするなど、考えを深める質問が掲載されている。「チャレンジ歴史」では、資料をもとに、歴史的事象について考察し、様々な視点から歴史を捉える活動が設定されている。
- ③ 単元の見通しをもたせるために、小單元ごとに「学習のはじめに」が設けてあったり、関連する資料が二次元コードに掲載されいたりする。また、「歴史を掘り下げる」、「近代の女性」、「先人に学ぶ」などの視点から歴史的事象を解説しているコラムが補足的資料として掲載されている。
- ④ 各章や資料活用の問いに「学び合い」マークが示されており、対話的な学びができ言語能力の育成が期待できる。また、歴史的分野の学習のまとめとして、「災害」や「政治参加」などの課題例が示され、現代の諸課題を考察する課題が設定されている。
- ⑤ 郷土調べでは、「考察とまとめ」の手法がくわしく書かれており、プレゼンテーションソフトを活用した報告の仕方など、郷土調べの視点が記されている。また、教科書の二次元コードから多くの史料・動画を閲覧できたり、確認小テストができたりする。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代までP18～62、中世までP64～102、近世までP104～152、近現代までP154～290という割り当てである。人名さくいと事項さくいをあわせて4ページある。各章のはじめに学習の見通しのための図板や、各節の学習課題がある。各節の終わりには、「まとめと振り返り」で時代の特色をつかむ活動でまとめを行うように構成されている。

(3) 総合所見

レイアウトは見やすく活用しやすいように整えられている。単元と節の関係を構造的に捉えられるよう問いが工夫されているため、単元のまとめをしやすい構成となっている。二次元コードはすべての見開き1ページごとについており、資料にアクセスでき、生徒の興味関心を高める工夫がされている。さらに、岡山県に関する記述も掲載されており、郷土調べで活用したり、生徒の興味関心を高めたりすることができる。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	歴史			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
225 自由社				1年	2年	3年
				225-72	225-72	225-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章のはじめの「登場人物紹介コーナー」では、小学校で学習した人物をもとに時代の流れを確認するページが設けられている。小单元ごとの「チャレンジ」や章末の「復習問題のページ」で基本的な学習内容を確認する活動が掲載されている。
- ② 各单元における歴史的事象や資料、学習課題に関する活動について、資料の読み取りや学習課題の解決へのヒントや問いが吹き出しで示されている。单元で取り上げる歴史的事象に関する見方・考え方のヒントが与える資料が掲載されている。
- ③ 「人物クローズアップ」や「歴史の言葉」、「知っ得ポイント!」などでは、学習内容に関する補足的資料としてコラムが掲載されている。「もっと知りたい」では補足的な資料や、内容によっては発展的な学習課題が示されている。
- ④ 各章末には、対話的な学びとして「対話とまとめ図のページ」が設けられている。歴史的分野の学習のまとめとして、歴史的事象に関する「三つの日本」や「国家」などの課題が示され、スピーチ発表をする活動が設定されている。
- ⑤ 章末の「調べ学習のページ」の中で、奈良・京都、資料館などを例に地域調べについての視点を示している。また、長崎を取り上げた例では、日本の近代産業の発展に造船が寄与していることが示されており、本市の造船業の学びに通じている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代までP19～68、中世までP69～104、近世までP105～148、近現代までP149～287という割り当てである。時代ごとに本文の色分けがされており、時代区分がわかりやすいように工夫されている。文章の漢字にルビが多く振られている。巻末に重要語解説2ページ、事項さくいん6ページ、人名さくいん3ページとなっている。

(3) 総合所見

各章の導入部分で、前章からの流れが分かりやすく示す等の様々な工夫があったり、章末で、時代を比較して時代の特色を考える等、興味関心をもって学習に取り組めるようになっている。本文の記述を深めるための読み物資料も多く、写真やイラストの配置も効果的である。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	歴史			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
227・育鵬社				1年	2年	3年
				227-72	227-72	227-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 単元のはじめに「鳥の目でみる」でその時代の大まかな流れや重要な人物を確認でき、「虫の目で見る」では資料から時代の特色を掴む活動が設定されている。
- ② 導入資料について考えるきっかけとなる問いが吹き出しで示されている。「資料活用」コーナーでは、見方・考え方を働かせるコーナーが設定されている。
- ③ 歴史的事象について様々な視点から解説されている「歴史ビュー」や補充的資料として「人物クローズアップ」などのコラムが掲載されている。学習に関連するウェブページにアクセスする二次元コードが示されている。コードにアクセスすると、NHK for Schoolや、歴史的文化遺産のHPを見ることができる。
- ④ 各章の終わりには、各時代の特色を考察したり、話し合う活動が設定されていたりしている。「歴史学習のまとめ」の、「日本の歴史を大観する」では、3つの言語活動が設定されている。
- ⑤ 「地域の歴史を調べてみよう！」で、具体的な町を取り上げ、身近な地域を調べる学習の手法が掲載されている。また、「歴史ズームイン」では多くの歴史的偉人が紹介されたり、「第二次世界大戦時、自分の住んでいる地域はどのような状況」を調べたりするなど、生徒の関心を高める工夫がされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代までP24～62、中世までP64～94、近世までP96～144、近現代までP146～284という割り当てである。人名さくいんが3ページ、事項さくいんが5ページある。各章のはじめに課題とともに歴史の流れを大観させる「歴史絵巻」が掲載されている。

(3) 総合所見

巻頭には、日本人の文化の歴史を学ぶことができる「日本の美の形」が掲載されるなど、資料が多い。コラムも多く、その中には二次元コードで資料にアクセスできるよう生徒の興味・関心を高めるような工夫がされている。章末のまとめでは、同じような形式でその時代の特色を捉えられるようになっている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	歴史			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
236 令和				1年	2年	3年
				236-73	236-73	236-73

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 太字で示された語句が多く、また、文献史料も豊富で専門的である。単元のはじめに年表ページがあり、政治・外交・文化・産業の4つの視点から時代の特徴をつかめるよう学習課題が設定されている。
- ② 「歴史学習の幅を広げよう」では、歴史小説や歴史漫画などを取り上げ、当時の世相や歴史の流れを考察する方法が示されている。また、フィクションとノンフィクションの違いを明確に示し、歴史的分野の学習に対する思考力や判断力について解説されている。
- ③ 各章には、章で取り扱う歴史的事象に関するコラムや人物紹介が様々な文献資料とともに、補足的資料として掲載されている。学習内容に関連した歴史漫画「承久の乱」にアクセスする二次元コードが示されている。
- ④ 「歴史について議論しよう」では、生徒が決めた歴史的事象をテーマとし、生徒同士で議論する学習の例が示され、「ディベートをしてみよう」や「ディスカッションしよう」で歴史的事象を様々な側面から捉える活動が設定されている。
- ⑤ 「field work」の中での「身近な歴史を年表にまとめよう」や「市町村歌を調べてみよう」、「文化遺産を調べに行こう」などで、身近な地域を調べる学習の手法が示されている。巻末には「日本美術図鑑」として30ページ以上にわたって各時代の日本の代表的な文化財が解説とともに掲載されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代までP17～118、中世までP119～182、近世までP183～268、近現代までP269～459という割り当てである。小単元内の学習がイロハ順に示され、それぞれに学習課題が設定され、ページ設定がそれぞれ異なっている。索引ページは3ページあり、取り上げている語句は政権担当者と出来事対照表となっている。

(3) 総合所見

文献史料やコラムが多く、生徒が興味・関心をひくような工夫、巻末の地図資料や各時代の美術品を取り上げ歴史の概観をつかめるよう工夫されている。しかし、内容的には、中学生にはやや高度な記述が見られる。また、資料や基本的な語句を取り上げすぎて、やや煩雑になっている部分がある。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	公民的分野			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
2・東書				1年	2年	3年
						公民002-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 公民の学習を進める上での基礎的・基本的な技能を身に付ける「スキルアップ」が多く盛り込まれており、身につけるべき技術をアイコンでわかりやすく示している。学習者がどのような学習活動を行うのかをイメージしやすいつくりになっている。「もっと解説」のコーナーで、学習内容をより深く学ぶための詳しい説明や関連する内容の紹介がなされている。
- ② 「トライ」では、学習課題に関する問いに、指定された語句を使うなどして説明する活動が設けられている。考え方の視点を示した「見方・考え方」、技能を活用し考える「えんぴつマーク」の部分や、章末の「深めよう」などでは、実社会に関する題材を取り上げ、自分の考えをまとめたり、表現したりする活動が設定されている。
- ③ 「導入の活動」のページでは、章の探求課題を示し、学習する内容の見通しをもたせるための課題が設定されている。「もっと知りたい!」は、本文に関連する内容をより詳しく学習できる発展的内容が示されている。各章の最後には「まとめの活動」のページがあり、各章で学習した用語を自分の言葉で説明する活動が設定されている。
- ④ 「みんなでチャレンジ」のコーナーが設けられており、課題に対して学習者間の対話的な学びを促進するテーマが取り上げられている。対話を促すための「ヒント」や思考ツールが提示されている。学習のまとめ方について、終章で取り上げている。
- ⑤ 文化に6ページを当て、伝統文化として、能や歌舞伎、衣食住や年中行事などが記されている。伝統文化を守りながら、多文化共生の社会を築いていくことの必要性が記されている。領土をめぐる問題に2ページを当て、北方領土と竹島、尖閣諸島について、それぞれの問題が起こった経緯や解決に向けた取組が記載されている。日本の国際貢献については2ページをODA、持続可能な開発目標、外交政策などについて掲載されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会31ページ、憲法37ページ、政治52ページ、地球社会35ページ、終章8ページという割り当てである。使い方のガイダンスは、2ページで、「章の構成と学び方」と「本文ページの構成と学び方」が記されている。見開きは、導入資料→「学習課題」→本文→学んだことを振り返る「チェック&トライ」の流れで構成されており、学習の内容に見通しを持ち、学習の定着を図ることができる構成となっている。見開きにデジタルコンテンツを活用できる二次元コードが付されている。巻末には用語解説一覧が配置されていて、デジタルコンテンツにアクセスして用語の解説を見ることができるようになっている。

(3) 総合所見

単元のまとまりを重視した構成がなされている。単元の導入時に探求課題を設定し、その課題に迫るために1単位時間ごとに学習課題を位置付け、単元末でこれまでの問いを振り返りながら探究課題に取り組むといった、学習を段階的に深めていけるような工夫がなされている。1単位時間の中で、公民的な見方・考え方を活用して考察するコーナーの質や分量に差があるため、学習展開の時間の工夫など、指導の際に配慮が必要である。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	公民的分野	
発行者番号・略称				教科用図書番号
17・教出				1年
				2年
				3年
				公民017-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① タイトル右側に学習課題が提示されている。左側本文下に、地理・歴史・小学校での学習との関わりが示されている。右下部分に、内容の確認・表現の課題が示されている。章の終わりに、章全体のまとめと表現を行うようになっている。
- ② 「表現」では学習課題に対する問いを説明したり、意見を交換し合ったりする活動を設けている。考える視点を活用する問いには、「見方×考え方」のマークが示されている。章の終わりに「STEP1」で振り返りながら「STEP2」で考えをまとめる活動が設定されている。
- ③ 「学習のはじめに」のページで、節ごとの学習課題が提示されている。「JUMP!」では、「未来のためにできること」が発展課題として提示されている。発展的内容として「公民の窓」というコラムが掲載されている。「学習のまとめと表現」のページでは、語句などを家庭で復習できる課題が設定されている。
- ④ 「ウォーミングアップ」で、個人の思考や意見交換をもとに見通しをもつ活動を促している。学習者の問題解決的な思考や対話的な学びを促進する「TRY」や、技能や表現力を養う「公民の技」が設定されている。「公民にアプローチ」で情報と発表についてまとめられている。
- ⑤ 文化に6ページを当て、伝統文化として、衣食住、生活文化、能や歌舞伎などが記されている。地域文化の保存と継承、異文化理解と新たな文化の創造について記されている。領土をめぐる問題に2ページを当て、北方領土と竹島、尖閣諸島についてそれぞれの問題が起こった経緯や解決に向けた取組が記載されている。領土問題とも関わり、外交の重要性について2ページを当て、ODA、NGOなどについて掲載している。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会26ページ、憲法44ページ、政治46ページ、経済40ページ、社会保障24ページ、国際社会36ページ、終章8ページ、使い方のガイダンス2ページ、公民で学ぶ主な内容や具体的な学び方、ノートづくりについて2ページという割り当てである。見開きは、学習へのきっかけや追究の中心となる導入資料から始まり、「学習課題」、本文、振り返りと「確認」「表現」という流れで構成されており、生徒にとっては学習の流れが把握しやすくなっている。学習に役立つ様々な情報を活用できる二次元コードが示されている。用語解説が巻末に4ページ掲載されている。

(3) 総合所見

各章の流れの中で、章の始めにイラストで説明するページから、「ウォーミングアップ！公民」で問題を解かせたり、「学習の見通し」の欄を設けることにより、見通しをもって学習できるように配慮されている。章の終わりで、「HOP!」の欄で知識・技能をコンパクトにまとめることができるようになっており、「STEP!」で思考力・判断力・表現力だけでなく、主体的に学習に取り組む態度についても評価できるように工夫されている。様々な思考ツールの使用が推奨されているが、使い方を例示するなどの工夫が必要である。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	公民的分野
発行者番号・略称			教科用図書番号
46・帝国			1年
			2年
			3年
			公民046-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 章の最初に小学校や地理・歴史との関連が記されている。本文の上に本時の学習課題、タイトルの下に節の問いが示されている。用語解説が欄外に記されている。章の終わりに内容を確認する活動があげられている。
- ② ページの最後にある「説明しよう」で、学習課題に関する問いを説明する課題が設定されている。また、考える視点や語句を活用する問いや資料などには、「見方×考え方」のマークが示されている。章末の「学習を振り返ろう」の「章の振り返り」では、学習前の考えを振り返りながら、チャートを用いて考えをまとめる活動が設定されている。
- ③ 「学習の前に」ではイラストとともに「章の問い」が示されている。「探究学習への準備」では、各章での学習を振り返り、探求テーマを主体的に考える課題が設定されている。発展的内容として「公民＋」では、より詳しい内容がコラムやインタビュー形式で掲載されている。「節の振り返り」のページでは、節で学習した内容を家庭で復習できる課題が設定されている。
- ④ 具体的な主題について、個人で思考をまとめたり、対話的な学習を促したりする「アクティブ公民」のコーナーが、特設ページや見開きページ内に設定されている。見開きページや章末のまとめの中の「対話」マークで、他の学習者とのやり取りを通じて思考を広げる活動が示されている。
- ⑤ 文化に4ページを当て、伝統文化として、能や狂言、和服や和食などが記されている。社会の変化に合わせ、変わる部分と変わらない部分を調和させながら文化を引き継ぎ、創造していくことの大切さが記されている。領土をめぐる問題に2ページを当て、北方領土と竹島、尖閣諸島についてそれぞれの問題が起こった経緯や解決に向けた取組が記載されている。国際社会における日本の役割については2ページを当て、平和主義やODAなどについて掲載している。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会28ページ、憲法と政治86ページ、経済66ページ、国際社会34ページ、終章10ページという割り当てである。使い方のガイダンスは2ページで、「教科書を活用した学び方」が示されている。また、「公民的分野の学習の全体像」、「現代社会の見方・考え方」、「考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～」について3ページ記されている。見開きは、学習内容につながる具体的例をあげた導入資料→学習内容を見通す「学習課題」→本文→学習内容を確認する「確認しよう」、自分の言葉で説明する活動を通して振り返りをする「説明しよう」の流れで構成されており、生徒はスムーズに学習できるようになっている。用語解説等の様々なコンテンツにアクセスできる二次元コードが付されている。

(3) 総合所見

各章の始めに、大きく立体的な絵を使って、問いに答えたり、その理由を考えたりすることで、学習の流れをとらえやすくしている。章の終わりで、図にまとめることによって、学習内容を振り返りやすくなっている。思考ツールについて、巻頭で使い方の手順を示してあり、わかりやすい。「探究学習への準備」で、一貫してSDGsと地域の視点からとらえるようにしている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	公民的分野
発行者番号・略称			教科用図書番号
116・日文			1年
			2年
			3年
			公民116-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて公民的分野それぞれの章末に、まとめのページが用意されており生徒の知識習得が期待できる。また一問一答形式の問題だけでなく、資料やデータなどが用意されており、そこから考察し表現する課題も用意されているため、表現力の育成も期待することができる。
- ② 知識技能を活用するためにアクティビティが設定されており、グループ活動へ展開することも期待できる。またアクティビティの課題の中には、解答を選択するものもあり理解力が中位～下位の層も学習活動を通じて、思考力や判断力を育成することができる工夫がなされている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、それぞれの章のはじめに問いを立てる場面が設定されている。またイラストや資料が多く、生徒の興味関心を高める工夫がなされている。また問いの内容もそれぞれの節につながる内容となっており、一時間の授業の中で、生徒がつながりを持つ効果が期待できる。
- ④ それぞれの節で社会的な見方・考え方について具体的に触れている。また触れる際にどこに着目して見るべきかを示しており、授業の中でどのような捉え方をすべきか分かりやすく思考力、判断力の育成が期待できる。
文化に4ページを当て、伝統文化として、年中行事、更衣、能や歌舞伎、お花見などが記されている。伝統文化を現代の社会に生かす工夫が必要であると記されている。領土をめぐる問題に4ページを当て、北方領土と竹島、尖閣諸島について、それぞれの問題が起こった経緯や解決に向けた取組とともに、世界の領土問題とその解決が紹介されている。日本の国際貢献については2ページを当て、ODA、PKO、人間の安全保障基金などについて掲載されている。
- ⑤

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会32ページ、憲法44ページ、政治46ページ、経済60ページ、国際社会34ページ、終章10ページという割り当てである。「公民を学ぶにあたって」について1ページ記されている。使い方のガイダンスは2ページで、教科書の構成と学び方について記されている。見開きは、本文の導入になる導入資料→何を学んでいくか示した「学習課題」→課題解決の手掛かりになる「見方・考え方」→本文→学習課題に対応し、学習を確かめる「確認」・「表現」の流れで構成されており、生徒は1時間の学習を見通しを持って取り組めるようになっている。見開きにデジタルコンテンツを活用できる二次元コードが付されている。巻末には現代の世界の様子を表す世界地図、現代年表、用語解説などが8ページ掲載されている。

(3) 総合所見

教科書本文の冒頭に少子高齢化社会の問題を持ってきており、玉野市の課題と合致している。社会参画を促す「明日に向かって」のページでは、度々SDGsの視点から書かれており、現代の社会の課題とも合致している。資料としてグラフや写真だけでなく、細かな仕組みを図にすることで生徒に分かりやすい仕様となっている。また掲載している資料も、大きく載せているものが多く資料から授業を展開していくことが可能である。様々な問いも現代の社会を表しており、生徒が身近なものとして感じ取ることができる。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	公民的分野
発行者番号・略称			教科用図書番号
2 2 5 ・ 自由			1年
			2年
			3年
			公民225-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 見開きページには学習課題が記され、本文中の語句や事柄に関する解説が側注に記載されている。見開き右下に「ここがポイント」として、重要な確認事項が記されている。章末に、重要語句の中からさらに重要な語句が「最重要語句」として記載されている。
- ② 「アクティブに深めよう」では、グループでの話し合いを踏まえて、自分の考えをまとめたり、発表したりする活動を設けている。また、章末の「学習のまとめと発展」の「学習の発展」では、複数のテーマから1つを選択させ、文字数を示しながら、自分の考えをまとめる活動が設定されている。
- ③ 章の最初のページでは章の問いが提示されている。本文に関連する内容をより詳しく学習できるための「ミニ知識」や「もっと知りたい」のコラムが提示されている。各章の「学習のまとめと発展」のページでは、章で出てきた語句を家庭で復習するための「3つの問題」が設定されている。「やってみよう」では、自主的に調べたり班で話し合ったりすることができるような課題が設定されている。
- ④ 特設ページや見開きページ内の「アクティブに深めよう」において、課題について考察したり、意見交換を行ったりする活動が設定されている。終章で、レポートのまとめ方やディベートの行い方などが扱われている。
- ⑤ 文化に12ページを当て、文化の継承と創造について説明するとともに、日本人の精神・科学・芸術・宗教について取り上げられている。我が国の領域に関する課題、領土問題について6ページを当て、北方領土と竹島、尖閣諸島についてそれぞれの問題が起こった経緯や解決にむけた取組が記載されている。日本の国際貢献については2ページを当て、ODAなどについて記載されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会23ページ、社会生活20ページ、立憲国家22ページ、憲法・政治56ページ、経済44ページ、国際社会42ページ、終章18ページという割り当てである。使い方のガイダンスは2ページで、「この教科書で学ぶにあたって」で、「公民を学ぶ目的」と「この教科書の使い方」を、「各章末の学習のまとめと発展の取り組み方」で「学習のまとめ」、「3つの問題」、「学習の発展」について記載されている。見開きは、導入資料→学習課題→本文→学習内容を振り返る「ここがポイント」の流れで構成されており、生徒には学習の流れがつかみやすくなっている。巻末には、現代社会のあゆみとして、1945年からの主なできごとが掲載されている。

(3) 総合所見

見開き右下に「ここがポイント」として具体的なまとめが示されていて、学習者が1単位時間で何を学ぶか分かりやすくなっている。話題性のある題材が多く、全体的に文章量が充実している。しかし、文字での情報が多いため、様々な資料を適切に収集、選択して、多面的多角的に考察する公民的分野の学習では、教科書に付け足して、取り扱う事象の関係を図や表にして表すなどの視覚支援が必要であり、使用の際に配慮が必要である。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	公民的分野			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
227・育鵬社				1年	2年	3年
						公民227-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、公民的分野それぞれの章について、学習のまとめのページがあり、そこで知識を問う問題が出されている。空欄を単語で埋めていく問題が多く、公民的分野の重要語句を確認することができる。しかしそれ以外の重要語句の確認においてはチェックしようとなっており、どのような活動をするかがわからない点も多く、生徒の知識習得への工夫が不足している。
- ② 知識技能を活用するために「学習を深めよう」の課題が多く設定されており、グループ活動へ展開することも期待できる。「学習を深めよう」では社会的な見方・考え方に触れているものもあり、その際に話し合ってみようなどの課題も多く、グループ学習を通じて、生徒の学習を深めることが期待できる。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、それぞれの章のはじめに「入り口」が設定され、理解を促す工夫がなされている。データやイラストなどを駆使しながら、その章の内容について触れており生徒の興味関心を惹きつける工夫がなされている。しかしながら文字数が多く、資料やデータが不足している。
- ④ それぞれの節で学習課題が設定されており、生徒の探究活動が期待できる。教科書の中で触れられている単語などを使い説明ができるようになっており、教科書を参考にして課題に取り組むことができる。しかし学習課題が「どのような」という表現が多いため、学習理解が中位～下位グループについては難しいと考える。
- ⑤ 国際社会の章では世界の様々な事象に触れており、生徒の興味関心を高めることが期待できる。また海のプラスチックごみ問題へ触れており、海に面した玉野市の児童生徒にとって、地域探求の課題として扱うことができる。また探求の際にゲーム理論を取り入れ課題解決へ向かうこともでき、ゲーム感覚で課題に取り組むことができる工夫がなされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会28ページ、憲法40ページ、政治40ページ、経済54ページ、国際36ページ、終章7ページという割り当てである。巻頭に、「なぜ公民を学ぶのか」が2ページにまとめられている。使い方のガイダンスは4ページで、「主体的で対話的な深い学びを支える教科書の構成」と「この教科書の学習のしかた」について記されている。見開きは、学習を始めるきっかけとなる導入資料→学習内容の見通しが持てる「課題」→本文→学習課題に対応し、学習内容を振り返る「確認」・「探求」の流れで構成されており、生徒はどの授業でも同じような流れで学習することができるようになっている。目次のところに学習に役立つ情報を見ることができる二次元コードが掲載されている。巻末には用語解説が5ページ掲載されている。

(3) 総合所見

多くのグラフや写真が掲載されており、学習する上で参考にすることができる。「学習を深めよう」の課題では、様々な事例を取り上げ生徒の興味関心を高める工夫がなされている。しかし掲載されている資料が細かいものが多く、文字数も多いため一部の生徒にとっては難易度の高いものが多く感じ、協同的・探究的な学びを確立するには難しい。また取り上げられている映画や、エピソード等が、生徒にとって身近に感じられにくく、授業を展開していく上での難しさを感じる。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	地理			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
002・東書				1年	2年	3年
				002-72	002-72	002-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、「チェック＆トライ」で毎時の学習の振り返りをさせたり、「もっと解説」において、教科書の語句についての解説が記載されたりしている。
- ② 「もっと知りたい」や「スキルアップ」のコラムによって知識技能が習得、活用することができるようになっている。各章において「探究課題」を設定することで、生徒が思考・判断・表現するための工夫がなされている。
- ③ 生徒が主体的、対話的な活動を行うために、「みんなでチャレンジ」のコーナーで対話的な学びから深い学びにつなげる活動を設定している。
- ④ 各小单元ごとに、2次元コードを配置して、デジタルコンテンツによって各章のワークシートや探究課題を確認出来るようになっているため、学習用端末を活用した情報活用能力や主体性の育成が期待できる。
- ⑤ 玉野市の生徒にとって、岡山県の交通や工業、玉野の造船について書かれており、住んでいる地域の学習においては効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

章のはじめには、写真や資料をもとに章の概観を行い、導入として興味をもてるような活動的な題材を提示している。章末において、章の内容をまとめ、自分たちで内容を振り返り、学習内容の定着を図るとともに、発展的な内容に取り組む工夫がなされている。

(3) 総合所見

大判の写真を多用して、インパクトある誌面構成にしているが、写真の選択やサイズ感で工夫の余地があるものもある。地図資料ではやや淡色が多用され、大きさについても資料内容に対して小さいもの、大きいもの等があり、やや見やすさの点で工夫の余地があるものもある。全体的に誌面構成、レイアウトで余白が多い。また本文中のふりがなも限定された語句だけになっている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	地理			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
17・教出				1年	2年	3年
				017-72	017-72	017-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「側注解説」によって語句の解説や記述の補足など基礎基本の定着のための工夫がなされている。導入資料・中心資料には「LOOK」という名称で解説文が記載されており、基礎基本の定着につながっている。
- ② 知識技能を身につけるための「地理の技」といったコーナーがあり、知識技能だけでなく、地理的な見方・考え方も身につけることができる。思考・判断・表現を高めるために、発展的な内容を取り扱う「TRY!」というコーナーも設定されている。
- ③ 多くの単元にコラム「地理の窓」が設けられており、本文中で取り扱った内容から生徒の興味・関心が広がっていくようなページが設けられている。それによって生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。
- ④ 巻頭にある二次元コード「まなびリンク」によって学習に役立つ内容を確認できるなど学習用端末を活用した情報活用能力の育成に期待できる。
- ⑤ 玉野市の生徒にとって、岡山県の交通や人口増減率の変化について書かれており、自らが住んでいる地域の学習については効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

章のはじめには、章の概観を捉えるために、学習の見通しをもたせる内容設定がなされている。導入として、興味をもてるような見方・考え方を働かせる題材を提示している。章末においては、章の内容をまとめ、自分たちで内容を振り返り、重要な語句を再度確認できるといった学習内容の定着を図る工夫がなされている。

(3) 総合所見

世界の各州で「地球的課題」を取り上げ、関連するSDGs目標を対応させている。各州の導入や特設ページでその目標が取り上げられ、問題意識をもった学習ができるようになっている。誌面構成が見やすく、小単元末にコラム「地理の窓」が配置されることが多いが、本文の資料・写真と「地理の窓」の写真が違和感なくとらえられる。ただ、「地理の窓」が多用されるため、本文量が制限される。各章はじめの地図は詳細で大きさも見やすいが、やや淡色で地形の特色がややとらえにくい。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	地理			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
46・帝国				1年	2年	3年
				046-72	046-72	046-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、資料に「小・歴・公」のマークを付け、小学校の学習や他分野との関連が示されている。また、語句の解説が多くのページに書かれており、基礎基本の定着のための工夫がなされている。
- ② 知識技能を活用するために、地理プラス+において学習内容に関連した事例が紹介されている。思考ツールの活用や「技能をみがく」のコーナーによって生徒が自ら思考、判断、表現をすることができるようになっている。
- ③ 「アクティブ地理」や「未来に向けて」のページによって生徒が主体的に地域社会やこれからの社会について地理的な見方・考え方をういて活動ができるように工夫されている。
- ④ 巻頭にある二次元コードから、統計資料やアニメーションなどのデジタルコンテンツを使用することで情報活用能力の育成に期待できる。
- ⑤ 玉野市の生徒にとって、岡山県の交通や工業、玉野市の工業出荷額について書かれており、自らが住んでいる地域の学習については大変効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

章のはじめには、章の概要を示し、学びの見通しをもたせる展開が記載されている。また、導入として興味をもてるような追求的な題材を提示している。章末において章の内容をまとめ、振り返ることで基礎基本の定着だけでなく、自らの考えをまとめる思考・判断・表現を育成することのできる題材も掲示されている。

(3) 総合所見

テーマに沿った地図が工夫されており、配色や配置も適切である。地域で働く人、生活する人の声を取り上げており、地域の特色を具体的にとらえる工夫がなされている。全体的に誌面構成やレイアウトなどが整っており、また本文のフォントが見やすく、ふりがなも多く振られていることで生徒が学びやすくなっている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	地理			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
116・日文				1年	2年	3年
				116-72	116-72	116-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着のために、歴史や公民、小学校での既習事項とのつながりを示す工夫がされている。また、小単元の最後に「確認」や「表現」といった視点を示して、学習内容の定着を図ることのできる工夫がされている。
- ② 知識技能の習得のために、地理+αのコーナーやスキルUPのコーナーが設定されており、地理的な技能を身につけるのに効果的である。地理的な見方・考え方を活用して行う「持続可能な地域をめざして」では、より発展的な思考・判断をするための特設記事となっている。
- ③ 主体的対話的な学習のために、「学び合い」や「議論してみよう」のコーナーが設定されており、生徒が対話的な学習に取り組むことができるようになっている。
- ④ すべての小単元に二次元コードが配置されており、デジタルコンテンツを用いて、ムービーの再生や確認小テストなどが行うことができるため、生徒の情報活用能力の育成が期待できる。
- ⑤ 玉野市の生徒においては、瀬戸内工業地域の内容において玉野市が取り上げられているため、自らが生活する地域の学習において大変効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

章のはじめには、章の概観を行い学習の見通しをもたせる工夫がなされている。また、導入として興味をもてるような活動的な問いを提示している。章末においては章の内容をまとめ、自分たちで内容を振り返り、学習した内容の定着や発展的な活動に取り組めるような発問が設定されている。

(3) 総合所見

資料として使われている地図は詳細かつ、配色がよく、大きさも適切で内容も工夫されており、全体的にとっても見やすくなっている。本文では独自のUDフォントが使用され、文中にルビも多く振られており、様々な生徒にとって見やすく理解を助ける工夫がなされている。地域の生活に根ざした資料が取り上げられており、具体的な理解を助けている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	地図			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
2・東書				1年	2年	3年
				002-72	002-72	002-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 一般図や主題図の見方について記述されており、地図帳を活用する際の基礎基本を身に付ける工夫がなされている。また、巻末にある世界の資料や各種産業についての記述も基礎基本を身に付ける際に効果があると期待される。
- ② 知識技能を活用するためにBee's eyeのコーナーが設定されている。知識を活用する問いであったり、思考・判断・表現の能力を高める事のできる問いが設定されていたりと工夫が随所に見られて、生徒の学習に効果があると考えられる。
- ③ 主体的に学習に取り組むために、現代社会における環境問題やSDGsについてのページも取り上げられている。その内容から生徒が対話しながら今後の社会について考えることができるような工夫がなされている。
- ④ デジタルコンテンツによって、地理院地図やGoogleマップ、RESASといった各種機能を授業で活用することによって生徒の情報活用能力の育成が期待できる。
- ⑤ 玉野市の生徒にとって、岡山県の歴史的な事柄や玉野市の造船が地図に記載されているため、自分が住んでいる地域の学びに効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

地域の全体図、拡大図、その地域の資料という順番で構成されており、拡大図においては歴史的分野と関連した内容が記載されている。巻末には、資料が24ページ、日本と世界の地域の統計が5ページ、索引は世界の地名と日本の地名が合わせて9ページにわたって配置されている。

(3) 総合所見

全体的に落ち着いた色使いで地名や海峡などが見やすくなっている。地図の中で所々色の主張が強くなり、刺激が強いものについては工夫の余地があるものもある。地名や特産品によってフォントが違っていたり、それぞれの語句にルビが振られているため、生徒にとって理解しやすくなっている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	地図			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
46・帝国				1年	2年	3年
				046-72	046-72	046-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着のために、凡例が適切に定義されている。巻末では日本国内だけでなく世界の資料も多く採用されていたり、地図だけでなく写真や図表も十分な量が記載されていたりするなど、基礎基本の定着のための工夫がなされている。
- ② 問いコーナー「地図で発見！」において基礎的な内容から発展的な内容にわたって問いが設定されている。そのことで知識技能が活用できたり、思考・判断・表現の能力を育成したりする活動も本コーナーでは多く取り上げられている。
- ③ さらに深めるコーナーにおいて、さまざまなテーマについての主題学習やSDGsの観点から世界に広がる地理的課題を探究する活動や主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。
- ④ デジタルコンテンツを活用することで統計資料やアニメーションなど学習用端末を活用した情報活用能力の育成に期待できる。また、地域別資料や白地図など活用することで知識を活用する能力の育成に効果的である。
- ⑤ 玉野市に住む生徒にとって、中国・四国地方の地図では、「瀬戸内海周辺の歴史」と題した歴史地図があり、瀬戸内海の水運や産業を通じた歴史的なつながりが分かるようになっている。玉野市については造船やのりについての記載がされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

地域の全体図、部分図、拡大図、その地域の資料の順で構成されており、部分図や拡大図に関しては見やすくなっている。地図記号や地図帳の活用方法を巻頭で取り上げられており、その後7ページにわたってSDGsといった地球的課題について触れられている。巻末には、資料が18ページ、日本と世界の地域の統計が8ページ、索引は世界の地名と日本の地名が合わせて10ページにわたって配置されている。

(3) 総合所見

全体的に濃い色使いで構成されており、高地と低地の差がはっきりと示されている。地域の資料も十分な内容と適切な色使いがなされているため、見やすくなっている。記載されている地名の数が多く、発展的な学習や調べ学習に対応することができる。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	数学	種目	数学
発行者番号・略称			教科用図書番号
2・東書			1年
			2年
			3年
			002-72
			002-82
			002-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 必ず解けるようになりたい問題にハートマークをつけ、基礎・基本となる問題がわかりやすく表現されている。節末の「基本の問題」や巻末の「補充の問題」で、個に応じた効果的な基礎・基本の定着が図れるようになっている。巻末には既習内容の基本的な知識や技能の確認ができる「学びのベース」、「学びのマップ」が設けられている。各ページの右下には二次元コードがあり、フラッシュカードで繰り返し練習ができるよう工夫されている。
- ② 章末の「深い学び」のページでは、問題をつかみ、見通しを立てて問題を解決していくように、側注に問題解決の過程が段階的に示されている。また、問題解決後もさらにほかの考え方がないか思考するように示されており、生徒同士が話し合う場面で、見方・考え方を広げ、深められるような工夫が凝らされている。
- ③ デジタルコンテンツが充実しており、導入で問題場面を理解したり、シュミレーションによる思考ツールを活用したりすることができ、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。また、デジタルコンテンツのフラッシュカードを活用した自学自習や、充実した単元末の基本問題・章末問題・巻末の補充問題等で、個人の理解度に合わせた家庭学習が促される仕様になっている。
- ④ 「数学のつながり」をテーマに身の回りの事象や他教科と数学を関連させた課題が設定される関連させた課題が設定されるなど、数学を用いた探究的な活動ができるように工夫されている。また、二次元コードが掲載され、関連する他教科の教科書紙面がデジタルコンテンツで見ることができるよう工夫されている。
- ⑤ 単元の導入や利用場面、「数学のまど」、「MATH CONNECT」などで身の回りにある数学が題材にされており、数学の学びが社会や仕事に繋がることを実感できる。また、巻末の「数学の自由研究」では、SDGsに関連した題材を扱っており、身の回りの事象や社会問題などに関心がもてる内容で、本市の教育活動の充実につながる事が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

それぞれの節の導入で身の回りの数学的事象や今までに学習した内容から発展させて考える場面を設定し、そこで見つけた疑問をもとに具体的な例や問に取り組む構成になっている。動画、ワークシート、対話シート、フラッシュカードなど、授業や自学自習で活用できるデジタルコンテンツが数多く準備されている。ページのレイアウトに関して、学習内容のまとまりがやや感じにくい印象がある。

(3) 総合所見

MATH CONNECTをテーマに、身の回りの数学どうしのつながりを重視している。内容ごとに、学習課題を表記することにより、これから学ぶことについて、見通しをもって学習が進められるようにしている。必ず解けるようになりたい問題にはマークをつけるなどの工夫がみられる。各ページの右下に二次元コードがあり、多くのデジタルコンテンツで、基礎の定着と思考力の育成を図っている。ページのレイアウトに関して、まとまりが感じにくい印象がみられる部分がある。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	数学	種目	数学			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
4・大日本				1年	2年	3年
				702	802	902

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「Q」の問題を補充し、繰り返し学習ができるように「プラス・ワン」の問題を設けている。また、節のまとめをするための「たしかめよう」には、既習事項を確認するための見出しとページ番号が示されており、理解が十分でない場合には学習したページに戻ることができ、基礎・基本の定着がより図られるように工夫されている。「○章をふり返ろう」では、生徒自らが学習を評価し、今後の学習につなげていくことができるように評価の観点が表示されている。巻末には1年間のまとめが簡潔にまとめている。
- ② 各章の利用では、身近なことから問題発見をし、問題解決の過程において大切な数学的な見方・考え方が側注に段階的に示されている。また、各章に「学びに向かう力を育てよう」が設けられており、学んだことを活かし、説明することで、発展させて考えられるような問題が示されている。
- ③ 巻末にある「課題学習」「MATHFUL」といった生徒が関心のもてるような発展課題や、補充問題・総合問題といった個の理解度に応じた技能演習が豊富にあり、家庭での自主的な学習が促される内容が充実している。
- ④ 章末の「つながる・ひろがる・数学の世界」では、他教科と関連がある題材を提示し、数学と関連させて探究ができるように工夫されている。また、「MATHFUL」では、日常の題材を扱ったコラムが紹介されており、楽しく数学の世界を知ることができるようになっている。
- ⑤ 「社会にリンク」のページが掲載されている単元があり、様々な職業の中で数学をどのように活用しているかが分かり、学習したことと社会とのつながりが実感しやすい。また、コラムの中には、仕事のやりがいや中学生に向けたメッセージなど、本市のキャリア教育の充実につながるような工夫がなされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

それぞれの学習内容の最初にそこで考える内容の手がかりとなる問題が設定されており、それらを踏まえた上でめあてが示され、具体的な学習内容へとつながる構成になっている。すべての例と例題について解説動画が視聴できたり、統計ツールが用意されていたりするなど、デジタルコンテンツが充実しているが、教科書の紙面上にデジタルコンテンツへリンクする二次元コード等があまり示されておらず、生徒が活用しにくい印象がある。

(3) 総合所見

「問題発見・問題解決の流れ」を設問と対応させて明示し、日常生活に生きる問題解決力をつける工夫がある。主体的・対話的で深い学びを実現するため、章の導入の活動、考えを伝え合う活動、学習したことを利用する課題を重視している。「Q判断しよう」「Q伝えよう」により、普段の学習で思考力・判断力・表現力を伸ばそうとする工夫がみられる。デジタルコンテンツへリンクする二次元コードが紙面上にあまり示されておらず、生徒が活用しづらい印象がある。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	数学	種目	数学			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
1 1 ・学図				1年	2年	3 年
				011-72	011-82	011-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 節末の「どんなことがわかったかな」では、生徒が学習内容を確認できるようにポイントが要約されている。「確かめよう」には、類題が扱われ、右側には本文の例などに戻って、内容を確認できるように学習したページが示されており、生徒が復習しやすいような手立てがある。数と式の領域の章末では「計算力を高めよう」のページが設けられており、より基礎・基本が定着するように工夫されている。
- ② 章末の「〇〇の利用」の「Question」では、側注に各章ごとに異なる数学的活動の過程が段階的に示されており、単元ごとに問題解決の方法を具体的に学べるような工夫がなされている。ページ途中に対話形式で見方・考え方が設けされており、学習した知識・技能を利用して問題解決ができるような流れで掲載されている。
- ③ 節末には、技能の定着度や単元の理解を振り返るページがあり、生徒が学びを振り返り、自分自身の学習を調整できるような工夫がされている。また、式の計算の分野では、「技能を高めよう」のページにたくさんの計算問題があり、演習量が確保できる。巻末の復習のページには、基本問題にだけ印がついており、個の理解度に応じた学習が促される仕様になっている。
- ④ 「役立つ数学」や「深めよう」には身の回りにある数学の内容を多く取り扱っている。また、巻末には一年間の学習を生かすことができる「さらなる数学へ」があり、日常の事象から問題を発見し、数学の問題としてみなし、解決するまでの流れが学習できるようになっている。また、各学年でSDGsに関しての、探究的な活動の内容が取り上げられている。
- ⑤ 巻頭には、身の回りにある図形として、日本や世界の観光名所が紹介されており、日本や他国の文化に触れる機会が設定されている。また、巻末の「数学の力」というコラムには、数学を生かして働く人へのインタビューの内容が掲載されており、数学が社会や仕事で活用できることを実感でき、本市のキャリア教育の充実につながる仕様になっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

章の導入や例題などの様々な場面で生徒どうしの対話の様子が多数掲載されており、対話的な学びを通してポイントを押さえながら学習内容を進める構成になっている。問題の量や種類が豊富であり、いろいろなパターンの問題を考えることができるように工夫されている。学習内容の導入がページの途中から始まるレイアウトがいくつかあり、生徒が内容のまとまりをとらえにくいことが考えられる。

(3) 総合所見

各章や節の扉ページで、身の回りの事象から主体的に問題を発見し、問題を解決しまとめ、新たな問題を発見する構成とすることで深い学びを実現している。見通しを立てて問題を解決していく過程で生徒同士の対話的な活動を多く取り入れ、話し合いの中で、確かな学力を育成させ、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。「確かめよう」や「計算力を高めよう」には、類題が扱われ、量や種類が豊富である。学習内容の導入がページの途中から始まるレイアウトがいくつかみられる。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	数学	種目	数学			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
1 7 ・ 教出				1年	2年	3 年
				017-72	017-82	017-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 例題と「問」の間に例題の内容を理解させるための「たしかめ」や、節末の「基本の問題」の右側には本文の例などに戻って、内容を確認できるように学習したページが示されており、基礎・基本の定着が図れるように工夫されている。また、すべての章末には、章で学習した基本的な内容が振り返れる「学習のまとめ」が効果的に設けられている。また、巻末には学習内容をまとめた「学びのマップ」があり、既習事項を振り返ることができるようになっている。
- ② 巻頭の「みんなで数学をはじめよう」では、学びのプロセスが示されており、単元末の「〇〇の利用」のページと関連付けてられており、生徒が問題解決の流れを把握しやすいように工夫されている。また、教科書の途中に、「！」が学習した知識を活かせるような表記になっている。
- ③ 各章の最初の「Let's Try」というページでは、生徒が関心をもち取り組みやすい内容の導入が設定されており、生徒が主体的に学習できる工夫がされている。また、章末には、学習のまとめのページのあとに、段階分けされた難易度の練習問題があり、個人の理解度に合わせた学習ができる仕様になっている。
- ④ すべての章末に、数学が日常生活や実社会に活用されている事例などを取り上げ、数学と実社会とのつながりや数学を学ぶ有用性を理解できるようにしている。また、巻末の「数学ライブラリー」でも、学んだことを活用して、日常生活の問題を解決する問題が取り扱われている。
- ⑤ いくつかの章の最後に「数学しごと人」という数学を仕事に活用している人へのインタビューが掲載されている。数学の有用性や中学生に向けてのメッセージを見ることで、自分の将来と数学の学びがつながることを実感することができ、本市のキャリア教育を効果的に行うことができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

章に入る前に既習内容を確認する問題が設けられていたり、章の最後には学習した内容のまとめを行うページが準備されていたりするなど、章の入口と出口を意識した構成になっている。例や例題にはタイトルを付けて学習内容が明示されており、着目するポイントが捉えやすいように工夫されている。1年の教科書において、素因数分解や累乗に関する内容が別の章として分けて掲載されており、他教材との関連に配慮が必要である。

(3) 総合所見

巻頭の「大切にしたい数学的な見方・考え方」では、問題解決の際に働かせる数学的な見方・考え方がまとめられており、本文には注釈として示され常に意識できるよう工夫されている。章に入る前に既習内容を確認する問題が設けられていたり、章の最後には学習した内容のまとめを行うページや、日常生活や実社会に活用されている事例が取り上げられていたりしている。学習内容に対して、まとめまで表記されており、生徒が考える余地が少なく感じられる。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	数学	種目	数学	
発行者番号・略称			教科用図書番号	
61・啓林			1年	2年
			061-72	061-82
				3年
				061-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章の章末「学びをたしかめよう」で、基礎・基本の定着が徹底できる問題が掲載されている。ページ右上の二次元コードには、各問題の具体的な学習内容や解答例をすぐに確認できるように工夫されている。また、巻末には「力をつけよう」が設けられており、繰り返し練習ができるようになっている。この二次元コードからは解説動画を見ることができ、自学自習をするときに大変使いやすくなっている。
- ② 各章末の「〇〇の利用」に取り組む際に、側注のステップに沿って学習することで、生徒が主体的に取り組みやすいように工夫されている。また、「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」では、学んだことを表現して、理解を深めたり学びを広げたりできる活動が示されている。
- ③ 単元の導入場面に必ずデジタル教材が視聴できるようになっており、生徒が単元の概要を理解し、主体的に学習に取り組む態度が養われるようになっている。また、ページの右下に二次元コードがあり、補充問題に取り組むことができるようになっている。家庭学習に繋がりがやすい。章末問題ではチェックボックスがついており、自分の解いた問題の記録を残せるようになっている。
- ④ 「学びをいかそう」や「数学ライブラリー」というページが設けられており、「緊急地震速報」や「AED」や「日本の伝統模様」などの、日常生活につながる題材が取り上げられている。数学での学習内容が、他教科やSDGsと深く関わっていることが実感できるような問題が掲載されて、問題発見・解決能力の育成が期待できる。
- ⑤ 巻末の「学びをいかそう」では、日本で生活するうえで必要な消費者教育や防災教育などが題材の問題が設定されており、学んだことが社会で生活する際に役に立つことが実感できる仕様になっている。また、巻末の「社会科見学に行こう」では、さまざまな職種に関連する題材が掲載されており、本市が進めるキャリア教育の充実を図ることができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

章の導入で身の回りの題材などを取り上げることで数学の有用性について実感させながら、例や例題から問を通して系統的に学習を進め、章の最後には例文を参考にわかったことやできるようになったことを自分でまとめることで学習を振り返る構成になっている。すべての例と例題の解説動画、スライドショー、問題の解説、補充問題、前学年までの既習事項のまとめ、プログラミングなどデジタルコンテンツが非常に充実しており、教科書紙面上の二次元コードでスムーズにリンクできる配慮もなされている。

(3) 総合所見

「問題発見」と「問題解決」のそれぞれで働かせる考え方を「たいせつな考え方」として取り入れられており、数学的な見方・考え方を自然に体得できるように工夫されている。各領域のすべての章に「利用の節」を設置し、その中では「利用のステップ」を設けて、数学的な問題発見・解決の過程を意識させている。基礎・基本の定着が徹底できる問題も多く掲載されている。多様化する学習形態に対応するため、シミュレーションや解説動画などのさまざまな種類のデジタルコンテンツが充実している。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	数学	種目	数学			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
104・数研				1年	2年	3年
				104-73	104-83	104-93

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章の学習に入る前に、その章に関連する既習事項を確認するページが設けられており、基礎・基本の定着を図る工夫がなされている。さらに、ページ下部の二次元コードは補充問題等へのリンクがあり、学習内容を反復練習することができる。また、間違いやすいことや忘れやすいことなどはキャラクターの発言を用いて確認するように工夫されている。巻末には公式や用語がまとめあり、既習事項がすぐに確認できるようになっている。
- ② 章末では、登場人物の対話を参考に進めることで問題を解決できるような形式で掲載されている。また、「学んだことを活用しよう」では、各章ごとに学習した知識技能を活用して、解決できるような身のまわりの問題が掲載されている。
- ③ 巻末に「チャレンジ編」として、補充的な内容の「力をつけよう」と応用的な内容の「力をのばそう」が設けられており、生徒の理解度に応じて自主的に学習できる工夫がなされている。また、二次元コードを読み取ることで、振り返り問題、反復問題、問よりも難しい問題を自分で選んで学習ができる。
- ④ 巻末の「数学旅行」では、様々な職業で数学が活用されている事例が紹介されたり、SDGsや他教科と関連付けて問題を考えることができるようになっている。SDGsと関連させて、問題点や課題を数学的に捉え、既習事項から新しいことを論理的に導く個々ができるように工夫されている。
- ⑤ 巻頭には、SDGsの実現に向けて数学を活用していくことの大切さが書かれており、数学の必要性を感じることができる工夫がされている。また、巻末の「数学旅行」では、数学を仕事に活用している人へのインタビューが掲載されており、数学が仕事につながることを実感し、本市のキャリア教育の充実につながることを期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

章に入る前に既習内容を振り返るページが設けられていたり、巻末にはこれまでの学年で習った内容を含めたまとめが準備されていたり、体系的に学習を進めることができる構成になっている。指導書には、教科書のデータがすべて入ったプリント作成ソフトのスタディエイドが付属しており、引用したプリントの作成が容易である。ページごとのレイアウトに統一感を感じにくく、ポイント等がやや分かりにくい印象がある。

(3) 総合所見

「数学的な見方・考え方」を身につけられるように、巻頭にまとめたものを示している。QやTRYの活動場面を中心に、生徒キャラクターの対話場面を示すようにして、課題に取り組む際にどのようなことに着目すればよいのか、一目でわかるようにしている。二次元コードを読み取り、基礎内容を反復できたり、グラフや図形を自由に書いたりできるコンテンツが充実している。ページごとのレイアウトに関して、統一感に欠ける部分が感じられる。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	数学	種目	数学			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
1 1 6 ・ 日 文				1年	2年	3 年
				116-72	116-82	116-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章の前に関連する既習内容を復習できるページが設けられており、新しく学習する内容につながりやすい構成になっている。また、各節の冒頭には「Q」や「めあて」、「例」が示されており、その節で学ぶ内容が明確となり、より基礎・基本が定着できるようになっている。節末には「基本の問題」、巻末には「補充問題」や前学年の復習問題が充実している。
- ② 巻末の「学び合おう」では、身近なことから見つけた問題に対して、自ら思考し、判断して問題解決ができるように、段階的に示されている。また、「学び合おう」の内容と対応した巻末の「対話シート」には、問題に必要な情報の整理ができるような工夫がなされている。
- ③ 各問いに二次元コードやチャレンジ問題、関連する補充問題などが記されており、ICTを活用して内容を確認したり、発展的な問題に挑戦したりすることができる仕様になっている。また、巻末には補充問題と活用問題があり、自分の理解度に合わせて自主的に学習が進められる工夫がなされている。
- ④ 巻末の数学マイトライでは、SDGsを数学の視点から考える題材が取り扱われている。また、「数学を仕事に生かす」では、様々な仕事で生かされている数学の考えを、体験談をもとに紹介され、数学の有用性を実感できる内容となっている。
- ⑤ 「数学マイトライ」の「SDGsと数学」では、社会問題や身の回りの事象に数学が関わっていることを実感できる。また、「数学を仕事に生かす」では、数学を活用して仕事をしている人の話が掲載されており、数学が社会や仕事に生かされていることが分かり、本市のキャリア教育につながる内容である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

学習内容が見開き2ページになるようレイアウトされており、学習のまとまりを感じながら進めることができるような構成になっている。巻末には、切り取って使用できる振り返りシートや対話シートなどが付いており、それぞれの学習場面で簡単に活用することができるよう配慮されている。裏表紙等に「図形のまとめ」が準備されているが、他領域の内容はないため、1年間の振り返りなどで活用する際には配慮が必要である。

(3) 総合所見

巻頭では「主体的に学習に取り組む態度」がどのような態度であるかを分かりやすく具体的に示されている。各章の前には「次の章を学ぶ前に」によって、既習事項を確認したうえで、次の章に入るよう工夫されている。学習内容が見開き2ページになるようレイアウトされており、学習のまとまりを感じながら進めることができるような構成になっている。二次元コードのコンテンツにはシミュレーションにペンツールが搭載されており、お互いに説明する場面などで活用することができる。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
2 東書				1年	2年	3年
				002-72	002-82	002-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、練習問題用の二次元コードや章末や単元末に「章末問題」「確かめ問題」があり、復習ができるよう工夫している。巻末に理科室のきまりや実験操作などがまとめて掲載され、確認しやすくなっている。
- ② 各節冒頭の「問題発見」では身近な現象が課題として示され、生徒が主体的に学習に取り組む導入の効果が期待できる。観察・実験や「流れに沿ってじっくり探求」では、流れやポイントが示されており、生徒が思考・判断・表現しやすい記述となっている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、各章・各単元で「Before&After」という学習前後の考えをまとめる課題を設けたり、実験・観察や思考の場面で、補足のデジタルコンテンツにアクセスできるように二次元コードが掲載されている。
- ④ 実験・観察の前後で、考えを比較したり、課題に対する結論を自分でまとめたりするように工夫された記述になっている。各章末にも、既習事項を活用して課題を解決する問いが設定されており、問題解決能力のさらなる育成に期待できる。
- ⑤ 各単元末には専門家のインタビューの掲載や、「私たちのSDGs」では既習事項と関連した活動紹介、持続可能な社会のために必要な「防災特集」が取り上げられ、玉野市の生徒にとって必要な、これからの社会を生きる力や自分の進路を考える力の育成が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

巻頭や単元の冒頭には生徒が興味・関心を持ちやすい写真や図、言葉を用い、学習意欲を高める工夫が見られる。学習内容がバランスよく各単元に配置されており、二次元コードも適切な配置で学習の補助として期待できる。単元のはじめに下の学年で学習した内容の関連部分を確認し、既習内容を復習するなどの工夫ができる構成となっている。巻末に重要語句の索引が設けてあり、生徒が学習しやすいものになっている。全体的に情報量が多いため、授業ではある程度焦点化するなどの工夫が必要と思われる。

(3) 総合所見

全体的に写真やイラストが豊富に掲載され、生徒の関心が高まり、教科書に親しみをもちやすくなることが期待できる。また、課題を明示してあることで、学習の意欲や探究心を高められるようになっている。章末・単元末には、振り返りの問題が用意され、基礎的内容の定着を図ることができる。また、生徒が主体的に学習できるよう手順が示されていたり、ICT活用がしやすいよう二次元コードを配置するなど、生徒が探究する際の手助けとなるよう配慮されている。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科	
発行者番号・略称				教科用図書番号
4 大日本				1年
				2年
				3年
				004-702
				004 - 802
				004-902

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各単元末に「単元末問題」が設定されており、基本的な知識・技能の確認ができる。「読解力問題」として、発展的な問題や表現力を問う問題が設定されており、自身で学習を振り返る事が可能である。巻頭や巻末には「理科室のきまり」や、観察、実験の「基本操作」が掲載されている。
- ② 観察・実験では、「着眼点」、実験内容、「結果の整理」、「結果から考えよう」を基本的な流れとして構成している。また、結果の例を掲載している。「やってみよう」では、課題解決につながる補助的な実験の紹介がされている。探究的な学習への取り組みについて、第1学年の巻頭には「理科の学習の進め方」として紹介がされていたり、巻末には「探求の進め方」として6ページに渡って解説している。
- ③ 章末問題では該当する教科書のページ数が記載されている。単元末には「探究活動」の例が挙げられており、詳しい実験手順も紹介されている。巻末には自由研究の題材が各学年8つずつ紹介されており、科学に関連する日本全国の施設の紹介もされている。
- ④ 1学年では問題を見つけよう、2学年では計画を立てよう、結果から考えよう、3学年では振り返ろう、といった、探究活動において各学年に応じて段階的に力を育成する仕掛けが示されている。また、探究活動の中でそれらを意識することができるよう表記されている。
- ⑤ 「科学のあしあと」では、科学の歴史や科学者などに関わる資料を掲載している。各学年の巻頭には獣医、技術者、宇宙飛行士のメッセージが掲載され、3学年の巻末にはノーベル賞の日本人受賞者の紹介やメッセージ、「科学のあゆみ」として日本における科学の発展及び世界的な発見等を掲載している。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

巻頭の「理科の学習の進め方」では探究活動の過程が示されている。各単元の冒頭には「これまで学習したこと」として既習事項の確認が、「これから学習すること」として学習内容の紹介がされ、見通しをもった学習が可能である。二次元コードは、基本的な実験操作に重点をおいて作成されている。

(3) 総合所見

各単元・各章で、「これまで学習したこと」や「思い出そう」で既習事項の確認をしながら、新しい学習課題に取り組むことができる。探究活動における各段階が意識できるよう、それぞれの表記がなされており、生徒が主体的に取り組むことができるような仕掛けが施されている。二次元コードは基本的な実験操作に重点をおいて作成しており、観察・実験の多くは紙面でのみ扱っている。全体的な分量が多く、丁寧に学習内容を記述していたり、科学的な発展の紹介がなされていたりするが、時間数の兼ね合いで内容の精査が教員側に求められる可能性がある。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科
発行者番号・略称		教科用図書番号	
11・学図		1年	2年
		011-72	011-82
		3年	
		011-92	

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 章の始めにある「学びのあしあと」には、既習事項がまとめられており学習前や学習中に適宜ふり返しを行うことができる。また、各章末には学習内容をふり返るための問題が用意されている。これによって基礎的基本的な理科用語の確認と習得が可能である。
- ② 巻末には「計算問題・読解力強化問題」が用意され、さらには全国学力学習状況調査や代表的な高校入試の問題がある。これらの解説は丁寧で分かりやすく、生徒が思考力・判断力・表現力を高めたり深めたりすることに有効と考えられる。
- ③ 章の始めに「Can-Do List できるようになりたい目標」があり、これからどのように学びに向かうのか、どのような知識・技能を身につけるのかが例示されている。また、「この時間の課題」では、本時のめあてにつながる課題が簡潔な記述により明示されており、一目でわかるように工夫されている。ただ課題発見解決型の学びを進める際にはこれらをどのように取り扱うのか留意が必要である。
- ④ 「理路整然－智に働けば役に立つ－」では、どうする探究の進め方やどうするレポートなどがある。探究の過程等が詳しく示され、生徒の発達段階に応じた探究の重点や実験の結果と考察例を豊富に示すことで、生徒の自主的自発的な学びの効果が期待できる。
- ⑤ ほぼすべての頁にわたって二次元コードが記載されている、これによって再構成され複数言語に対応した教科書3学年分の全ページに常時アクセスすることができる。生徒が自学自習で学びを振り返るとき有効であり、チャット機能も付属している。また、分かち書きにも対応しており難読漢字の判読も容易である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

全体の分量が多く、学習内容が丁寧に幅広く網羅されている。探究の過程が詳しく取り上げられており、単元ごとにどのような資質・能力の育成を目指すかを明確にしやすい。単元の構想や工夫・手だてを考慮して、探究学習を計画的に行うことができる。実験・観察で、自分や他者の考えを検討して改善することや、条件を制御して実験を計画・実施しやすい工夫がなされている。

(3) 総合所見

「理路整然」と題して、教科書の多くの場面で探究の方法・レポートの書き方・粒子モデルをどのように表わすのか等の重要事項を詳細に解説しており、グループ活動における意見交換の場面での利用、科学的根拠を確認して現象を捉え直し考察する場面での活用などが考えられる。全体的な分量が多く記述も詳細になされていることにより、教科書を読み込んで理解するためには熟練が必要である。したがって、授業で全てを取り扱うことは困難が予想される。そのため生徒が自宅学習で使用するところを明確化することの留意が大切である。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
17 教出				1年	2年	3年
				017-72	017-82	017-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 章末には「要点をチェック」が設定されており、基礎の定着を図ることができる。また、単元末には「要点と重要語句の整理」「基本問題」が設定されている。巻末にも「学年末総合問題」や実験の基本操作、理科で使う計算などがまとめられている。
- ② 観察・実験では、課題の設定や仮説・計画の建て方の手順が示されている。考察のポイントも明記され、実験結果から課題に対する結論がはっきりと記述されている。レポートの書き方も各学年で示され、実験後のまとめが行いやすい工夫がなされている。
- ③ 各章で、学習前後の考えをまとめる課題が用意されており、生徒が主体的に学習の成果を感じられる工夫がなされている。また、デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードや発展的に学習する「研究」「自由研究」が示されていて、関心のある分野をさらに探求できる仕組みになっている。
- ④ 「解決しよう」「疑問から探求してみよう」など、既習事項を活用して課題を解決したり、疑問を見つけるところから進めたりと、問題解決の力が高まる効果の期待できる内容が記載されている。
- ⑤ 巻頭に「探求の進め方」が示されており、各単元のはじめに学習の流れが明示されるなど、玉野市の生徒にとって、見通しを持って学習に向かうことができることが期待できる。各節が「結論」でまとめられているため、そこまでの経過や考察を丁寧に扱う工夫が授業内で必要である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

各単元の冒頭に既習事項と学習内容が示されている。各章の冒頭にも、章に関する既習事項が紹介されている。各節に課題が示され、その課題を解決していく構成となっている。二次元コードは、実験操作を中心に掲載されており、他の情報が少ない。巻末の索引は重要語句と基礎技能について掲載されており、使いやすい。全体的に文字や図が小さく、図の数も多くないため、授業で使用する際の視覚支援の工夫が必要である。

(3) 総合所見

課題から結論までの科学的探究の流れを意識した構成になっている。過去の学習との関連や他教科との関連、高等学校での学習へのつながり、私たちの生活とのつながりなどは、キャリア教育を重点とする本市での活用に有用である。また、重要用語の整理や基本問題の設定など、基礎知識の定着もしっかり行うことができるよう工夫されている。効果的な写真やイラストの使用により、生徒が理解しやすいような工夫がなされているが、全体的に小さいため授業での使用に工夫が必要となる。また、単一的な構成なので、画一的な授業に陥る可能性がある。結論がしっかり明示されているため、そこまでの過程を大切にしたい授業構成を工夫する必要がある。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科
発行者番号・略称		教科用図書番号	
61 啓林館		1年	2年
		061-72	061-82
		3年	
		061-92	

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章末の「学習のまとめ」で基本的な用語が確実に理解できるよう配慮されている。さらに、各章末の「力だめし」で知識や思考の定着を確認することができる。観察・実験のまとめなどが丁寧に扱われており、基礎・基本の定着につながる工夫がなされている。
- ② 生徒が自ら思考、判断、表現するための「探究ラボ」、根拠ある仮説の立て方や仮説を検証するための実験方法の計画、実験結果の分析や結果の表現などをまとめた「探究シート」が掲載されており、活動が行いやすいよう工夫されている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組めるよう、タブレットやスマートフォンなどを使い、教科書の二次元コードを読み取ることによって、実験装置の使い方や顕微鏡観察等の動画を家庭でも閲覧できるよう工夫されている。
- ④ 生徒にとって身近な「部活ラボ」や「お料理ラボ」「減災防災ラボ」など多くのコラムを随所に取り入れることで、興味を高める効果が期待できる。また、「なるほど」「深めるラボ」や各単元末の「ひろがる世界」などでの他教科との関連・最新の研究成果の紹介により、理科の有用性が伝わるよう工夫されている。
- ⑤ 玉野市の生徒にとって、各実験・観察などでの探究活動の解説も丁寧になされており、生活に身近な事象を扱うコンテンツも多いことから、自然の事物・現象について進んで関わり、理解を深め、科学的に探究しようとする態度を養うのに効果が高い。特に、「みんなで解決」で仮説を立てたり学んだ知識を活用したりするため、対話的な学びにつなげるのに効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

「学びの見通し」や「学ぶ前にトライ」「学んだ後にトライ」が設定されており、単元の学習前後での考え方の変容を生徒自身で確認することで、学びの達成感につなげることができる。「つながる学び」で小学校の既習事項の確認を行い、「高校化学へ」などで高校理科を意識することで学校間の接続が確認でき、系統的な学びになるよう工夫されている。また、他教科との関連がマークで明示され、カリキュラムマネジメントや、教科横断的理解を深める手立てとなっている。本文や見出し、配色などにユニバーサルデザインが用いられることで、色覚の個人差なく学習に取り組める配慮がなされている。また、行間を広くする工夫や見やすい写真や図をページ上部や周辺部にレイアウトすることにより、視覚的に内容を理解しやすくなっている。

(3) 総合所見

どの生徒にとっても、見通しをもって科学的に探究する活動を段階的に行うことができ、思考力・表現力を高める工夫が随所にみられる。また、本文や実験後の解説も丁寧な記述が多く、大きく見やすい図や写真を効果的に配置するなど、理解を深める手立てがなされている。二次元コードからの動画閲覧や復習問題への取り組みなどができるようになっており、授業だけでなく家庭学習でも主体的に取り組むための仕掛けもあり、学びに向かう力を高める工夫がされている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	音楽	種目	音楽（一般）
発行者番号・略称			教科用図書番号
17・教出			1年
			2年
			3年
			017-72
			017-84017-83
			017-84017-83

（1） 内容の特徴及び表現

- ① 鑑賞では、音楽の時代が分かりやすく示されており、その時代の音楽の特徴を意識しながら鑑賞することができるようになっている。各教材には、その楽曲を理解する上で必要な基本的な知識が掲載されている巻末の「楽典」を参考にするように示されている。
- ② 「話し合おう」といった他者と意見を共有する枠が設定されている。創作では、自分が作った作品を他の人の作品と繋げて表現することを薦める表現がされている。音楽を形づくっている要素をアウトプットを通して理解を深めるためのページがある。
- ③ 自主的・補充的な学習を行うために、二次元コードを読み込んで「まなびリンク」を使用することができるようになっている。範唱などが示され、ひとつのゴールの姿を知ることができるように工夫されている。
- ④ 各学年の発達段階に応じて、音楽と社会の関係性について考えることができるような「資料」が掲載されている。「音のスケッチ」では、言葉の抑揚やまとまりに着目して言語能力を育成することができるような創作活動が示され、互いに共有することができるような工夫がされている。
- ⑤ 「日本の歌 みんなの歌」を掲載し、我が国の自然や四季の美しさを感じ取ることができるようになっている。他国を尊重する態度を育てるために、日本と他国の音楽を比較することができるよう、世界の諸民族の音楽が取り上げられている。

（2） 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

巻頭にはプロ奏者の写真とメッセージと、教材の作曲家のエピソードと自筆譜が掲載されており、続いて学習MAP、前半に歌唱・創作などの表現、中盤に鑑賞、後半では現代に関わる、あるいは現代までの資料、そして曲集となっている。巻末には折り込みの資料があり、楽典や写真資料が多く掲載されており、充実している。創作では教科書に直接広く書き込むことができるように工夫されている。内容・分量共に過不足ない内容である。学習MAPでは、それぞれの教科書で扱われる各教材の学習のポイントが表でまとめられている。二次元コードからアクセスできる「まなびリンク」では、範唱やワークシートにアクセスできるよう工夫されている。

（3） 総合所見

全体的に楽譜や写真・イラストが大きく、見やすくレイアウトされている。既習の教材との比較をする場面が多く用意され、それぞれの教材を深められるような構成となっている。ワークシートとして使用できるような工夫もされており、説明も非常にわかりやすく、また見やすく工夫されているが、書き込む内容が少し幅が広く設定されて自由度が高いため、教師の補足や工夫が必要な場合もある。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	音楽	種目	音楽（一般）			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
27・教芸				1年	2年	3年
				027-72	027-83027-72	027-83027-72

（１） 内容の特徴及び表現

- ① 「My Voice!」では、歌唱教材のページに続いて、イラストで分かりやすく示された歌い方や指揮法等、基礎基本を身に付けるための情報が細かく掲載されている。資料として「音楽を形づくっている要素」が各学年の学習内容に応じて掲載されている。
- ② 創作では、活動の流れが示されており、その中に他者と意見を共有しながら作品を改善していく旨がある。2・3下の巻末には音楽史のページが6ページあり、知識・技能を活用して音楽を味わって聴くためのページがある。
- ③ 二次元コードを読み取ると、パート別の演奏や旋律、伴奏を聴いたり、より詳しい内容を確認することができ、家庭学習や補充学習に繋げることができるように工夫されている。
- ④ 「生活や社会の中の音や音楽」では、社会や生活を支える音や音楽について取り上げられている。「音楽の学びを振り返ろう」では、音楽の要素に注目しながら、薦めたい一曲のよさを紹介するプレゼン活動が取り入れられ、互いに共有することができるような工夫がされている。
- ⑤ 「心の歌」として日本で長く歌われてきた曲を扱い、日本の伝統的な楽曲を通して我が国の自然や四季の美しさを感じ取ることができるように工夫されている。自国と他国の音楽を比較して、各国の音楽の良さや美しさを味わうことができるよう、世界の諸民族の音楽が取り上げられている。

（２） 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

見開きにはプロの演奏家のメッセージ、続いて音楽って何だろうという音楽関係者だけではなく著名人の問いかけが掲載されており、学習内容の一覧、前半に合唱・創作などの表現、続いて鑑賞、世界のジャンル、特集や資料、後半は合唱曲が掲載されている。巻末にはプレゼンのページと楽典などの資料が掲載されている。創作は教科書にも直接書けるよう工夫されている。内容・分量共に過不足ない内容であり、難易度・現代の音楽へのつながりを意識した教材配置になっている。学習内容の一覧は、それぞれの教科書で扱われる教材で、指導要領の3観点のどの部分にあたるのかわかるように表でまとめられている。二次元コードは、伴奏やパート別練習用音源、ワークシートなどにアクセスできるよう工夫されている。

（３） 総合所見

二次元コードからアクセスできる情報が多岐にわたり、興味を持たせたり、各自で活動できたりするような工夫が見られる。また、教材は難易度や、現在の音楽までの関係性を持たせて配置されており、生徒が現在親しんでいる音楽にも関連づけられている。写真や資料は最新かつ身近なものが多く採用されており、学習を超えて広く音楽に親しむことができるようになる構成となっている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	音楽	種目	音楽（器楽）
発行者番号・略称			教科用図書番号
17・教出			1年
			2年
			3年
			017-72
			017-72
			017-72

（1） 内容の特徴及び表現

- ① 各楽器の奏法や姿勢等の写真・イラストを掲載して基礎的・基本的な技能の定着できるよう工夫されている。楽曲の難易度が高いため、選曲が重要となると考えられる。指導する際は苦手とする生徒への配慮が求められる。
- ② 「音のスケッチ」では、演奏した楽曲に関連した創作をすることができるため、知識・技能を活用することができるようになっている。グループ活動を前提とした創作となっており、他者と意見を共有しながら考えを深めることができるようになっている。
- ③ 二次元コードを読み取ると、模範演奏を見ることができ、演奏の参考にすることができるようになっている。ただし、手元が映されたものではなく、横からだったり引きの映像だったりするので、活用の際にはあらかじめ伝えておく必要がある。
- ④ 「表現の仕方を調べてみよう」では、日本や諸外国の楽器を比較し、情報を活用して吹く楽器や弾く楽器の特徴を理解することができるようになっている。「深めてみよう」では、習ったことをもとに鑑賞と絡めて言語化できるような内容になっている。
- ⑤ 「発展」では、吹く楽器や弾く楽器について、和楽器と諸外国の伝統的な楽器について調べる活動があるため、我が国や他国の伝統・文化について理解を深めることができるようになっている。

（2） 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

巻頭には、本書で扱われる楽器とその同族楽器の演奏風景のサムネイルが掲載されており、それぞれの楽器を体験するだけでなく、関連を持って学習することが伝わるように工夫されている。リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓、楽曲の順で掲載され、「表現の仕方を調べてみよう」では、扱った同族楽器の表現や音色の比較と、同族の民族楽器について調べられるようになっている。同族楽器同士の概要や違い、楽器の背景にある文化や伝統について調べられるように工夫されている。場面に応じて二次元コードがついており、リコーダーの一部の曲の伴奏や、楽器の演奏法の映像にアクセスでき、個別に学習が進むことができるようになっている。巻末に運指・コード表・用語、記号が掲載されている。

（3） 総合所見

丁寧な解説と写真や図で、教師の指示を待たずとも演奏できるような工夫がされている。また、自身が着目したことを共有しながら、共通点や相違点などに焦点を当てる活動も含まれている。日本の伝統楽器では伝統の楽譜も掲載されているが、五線譜を大きく載せ、慣れ親しんだ表記をすることで、演奏のしやすさにつなげている。完成すれば達成感のある曲も多く掲載されているが、楽譜上でも情報量が多く、またリズムや合奏時の難易度が早く上がってくるので、読譜力や演奏技術などに合わせて内容を選択するなどの配慮が必要な場面もある。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	音楽	種目	音楽（器楽）
発行者番号・略称			教科用図書番号
27・教芸			1年
			2年
			3年
			027-72
			027-72
			027-72

（1） 内容の特徴及び表現

- ① 各楽器の学習の導入として聴くこと、知ることを足がかりに、奏法を含めた楽器の基本的な知識を学ぶことができるようになっている。楽曲の種類が豊富で難易度も様々なものが用意されているため、生徒の状況に合わせて選ぶことができる。
- ② 「My Melody」では、日本の音階の雰囲気を生かして、音のつながり方を工夫したり、最後の音を制限したりしながら筆の旋律を創作する活動が設定されている。示された流れに沿って、自分で4小節の創作ができるようになっている。
- ③ 二次元コードを読み取ると、リコーダーの各曲の伴奏にアクセスでき、「ノンレガート奏法」と「ポルタート奏法」に合わせた伴奏を流すことができる。タンギング等の奏法を動画で確認することができるなど、各自で学習を進めることができるようになっている。
- ④ 「アンサンブルセミナー」等のアンサンブル譜が多く掲載され、音楽的な見方・考え方を働かせた発展的な学習に取り組むことができる。巻頭の「音楽って何だろう？」は、音楽と人との関係について考えることができるような内容となっている。
- ⑤ 和楽器が現在でも日本でどんな活躍をしているかが分かりやすく示されている。各楽器の楽曲で、現代までの様々なジャンルの音楽が取り扱われ、理解を深めることができるようになっている。

（2） 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

巻頭には、プロの奏者の経験や中学生へのメッセージが掲載されている。また、世界の現地の音楽の風景とともに、「音楽って何だろう」という問いかけもあり、スムーズに活動に入ることができる工夫がされている。リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器、楽曲の順で掲載されている。関連する楽器は、使用される演奏分類とともに紹介され、用途や文化とセットで理解できるよう工夫されている。またドラムセットやエレキギター、タブラチュア譜など、現代の音楽シーンまで幅を広げて扱われている。見開きの右側に二次元コードがついており、リコーダーのほとんどの曲の伴奏や演奏法、ワークシートにアクセスができ、個別に学習が進められるように工夫されている。巻末に楽器図鑑、運指表、コード表、用語、記号、和楽器で活躍する中学生の紹介が掲載されている。

（3） 総合所見

丁寧な解説と写真・映像で、教師の指示を待たずして学習が進めるよう工夫されている。楽譜は音数が少なくシンプルなものが多く、見やすくまとめられている。和楽器の扱いでは、楽譜や口唱歌が伝統的なものを大きく配置して五線譜を小さく掲載し、文化を意識させるように工夫されている。曲そのものだけではなく、現代までの音楽につながっていることを意識させる工夫がされており、音楽に親しむ態度につながる内容のものが多く掲載されている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	美術	種目	美術
発行者番号・略称			教科用図書番号
9・開隆堂			1年
			2・3年
			009-72
			009-82

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 学習指導要領の三つの柱に基づいて各題材の「学習の目標」が明示されるとともに、授業場面で主に育てたい資質・能力を小見出しとして示すことで、「学習の目標」と照らし合わせながら確認できるように工夫がされている。また、技法や用具の解説を関連するページに示すとともに、知識や技能を培う資料が「学びの資料」としてまとめられている。
- ② 造形的な視点への実感的な理解をもとに、発想や構想をしたり、より見方や感じ方を深めることができるように、生徒と教師のキャラクターが学習のポイントや進め方のヒントを示し、より深い学びに導かれるよう工夫されている。題材ごとに授業で活用できるワークシートがデジタルコンテンツとして準備されており、作品を鑑賞したり、発想・構想を練りやすくしている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組めるように、題材ごとについているデジタルコンテンツの中に、導入動画、技法・用具の解説動画、鑑賞やふり返りのワークシートが準備されている。美術文化と身近なものを関連づけて捉えられるように、漫画やアニメーション、絵本など生徒にとって親しみのある作品が掲載されている。
- ④ アニメーションや映像メディアについての題材では、実際の生徒の取り組みの様子や制作の手順など情報端末の活用例が多く示されている。「鑑賞」の題材では、鑑賞の視点が示されており、見方や感じ方をより深められるように工夫されている。
- ⑤ 「美術2・3」では、美術を通して社会で生きる視点で現代で活躍する現代アーティストや伝統工芸職人などから「作者からのメッセージ」を掲載し、学んだことをどのように自分の生き方や社会とのつながりに活かせるのかより深く考えることができるようにされている。SDGsとの関連を意識した作品を多く取り上げており、巻末の「学びの資料」では4ページにわたり、関連作品を取り上げている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

教科書の表紙が光沢や凸凹がある特殊加工がされており、見て、触って楽しめるものになっている。「美術1」、「美術2・3」の二冊で構成されている。巻頭の目次に題材の内容が示され、学びを確認しやすくなっている。各題材は4ページを基本に、表現と鑑賞の関連を図った内容が、授業展開に沿って構成されている。各題材ごとに、二次元コードで、学習の導入動画、生徒作品、ワークシートなどを見ることができる。紙質により画像の「青み」が少し強いものもあり、生徒にとって見づらさを感じる部分もある。

(3) 総合所見

各題材は4ページを基本に、表現と鑑賞の関連を図った内容が、授業展開に沿って構成されている。各題材ごとに、紙面左上に二次元コードでデジタルコンテンツが掲載され、導入動画、生徒作品、技法・用具の解説動画、鑑賞ワークシート、ふり返りワークシートが生徒自身で見られるようになっており、授業や家庭での自主的な活動をすることができるようになっている。題材ごとに学習の目標を3観点で示すとともに、それぞれの活動で主にどのような力を身につけることができるのか、小見出しで示し、題材のねらいや内容がわかりやすくなるよう工夫されている。学習の進め方やポイントを示しているが、造形的な視点として、やや具体性に欠けている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	美術	種目	美術
発行者番号・略称			教科用図書番号
38・光村			1年
			2・3年
			038-72038-73
			038-82

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 学習指導要領の三つの柱に基づいて各題材の「目標」が明示されるとともに、形や色彩、材料などの〔共通事項〕を意識できるよう問いかけが示されている。また、別冊「美術1資料」に、技法や用具の使い方、色などについての資料が36ページに渡り掲載されている。紙面に載せられている二次元コードから、技法動画や色の体感ツールが見られるようになり、誰にでもわかりやすく使いやすい資料となっている。
- ② 「みんなの工夫」では、生徒作品とともに、制作過程における思いや考え、アイデアスケッチ、制作の様子の写真など、発想や構想、制作の工夫がわかりやすく紹介されている。また、発想や構想の手立てとして、「美術1資料」に思考ツールを活用した思考法が紹介されており、生徒が自ら多角的に様々な方法で思考・判断・表現ができるように工夫されている。
- ③ 道徳科や他教科との関連を考えながら学習が進められるように、道徳科の内容項目や、教科のつながりに関するコラムが掲載されている。生徒の学ぶ意欲につながるように、題材のはじめに表現につながる鑑賞作品と対話が生まれるような問いかけが示されている。「美術1資料」では、どんな材料を使うのか生徒自身が主体的に考えることができるように多種類の材料と技法動画コンテンツが紹介されている。
- ④ 文字や図形が書き込める高精細画像の作品鑑賞ツールや、解説画像、展示空間の360度写真など様々なデジタルコンテンツで鑑賞ができるようになっている。また、美術1の巻末と各鑑賞のデジタルコンテンツに「美術鑑賞を広げる言葉」が示され、鑑賞をするうえでの見方・感じ方が深まるよう工夫されている。生徒作品の紹介では、一人一人の思いを文章や動画で多数紹介している。
- ⑤ 浮世絵や屏風などの日本の絵画を和紙のような風合いの用紙を使ったり、原寸大で掲載したり、各作品をデジタルコンテンツの高精細画像で細部まで鑑賞できるようにしており、日本美術のよさを体感的に学べるような工夫がされている。また、SDGsに関する美術作品が掲載されているほか、題材と関わりの深い目標の番号が、紙面の下部に示されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

中学3年間で必要な資料を「美術1資料」にコンパクトな別冊としてまとめている。題材の中で「表現」と「鑑賞」が一体的に、授業の流れに即して学べる構成になっている。絵画や写真の作品は、実物に近い色合いや立体作品では鑑賞者が見る視点から撮影した画像を掲載しており、生徒が本物の魅力を疑似体験できるように工夫されている。生徒作品や生徒の活動例と、生徒の思いや考えを多数掲載することで、評価の際に見取るべき生徒の姿がイメージしやすくなっている。

(3) 総合所見

2、3年を1冊にまとめることにより、学習内容が柔軟に対応できる。さらに技法などの学習に必要な資料を別冊「資料」にコンパクトな一冊にまとめることで、3年間を通して、生徒が主体的に表現や鑑賞をする際に参考にできるようになっている。鑑賞では、「みんなの工夫」として生徒作品とともに、制作過程写真や、生徒の思いや考えを多く掲載し、評価の際に見取るべき生徒の姿や発想や構想を生み出す参考としやすい。鑑賞において、日本絵画を和紙のような風合いの紙で印刷していたり、実物に近い色合いや鑑賞者が見る視点から撮影した作品を掲載したり、ORコンテンツで高精細画像の書き込みツールがあったりするなど、造形的な見方・考え方を深めるための工夫が多数なされている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	美術	種目	美術
発行者番号・略称			教科用図書番号
116・日文			1年
			2年
			3年
			116-72
			116-83
			116-84

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 学習指導要領の三つの柱に基づいて各題材の「学びの目標」が明示されるとともに、形や色彩、材料などの〔共通事項〕を意識できるよう「造形的な視点」が示されている。また、各巻の巻末には、発想や構想の手立て、技法、色彩、美術文化に関する資料が掲載され、題材に対応し、生きて働く知識及び技能の習得が図れるように工夫されている。
- ② 全ての表現題材で、発想や構想の手掛かりとなるように、「表現のヒント」が示されている。表現の参考となるように、多彩な表現がわかる作家や生徒作品と作品の理解を深めるための作者の言葉が掲載されている。また、「発想・構想の手立て」として、現在活躍しているアーティストの制作過程などが紹介されている。各題材に「鑑賞の入り口」という、造形的な見方・考え方に気づかせる問いかけが示されている。
- ③ 道徳科や他教科との関連を考えながら学習が進められるように、道徳科の内容項目が示されている。生徒の学ぶ意欲につながるように、各題材の主文で活動を通して何を学ぶのか示され、デジタルコンテンツで導入動画を視聴できるようになっている。さらに、美術作家だけでなく現在活躍する他ジャンルの著名人からのメッセージをのせ、美術への興味をもてるような工夫がなされている。
- ④ 各題材の導入動画「学びのはじめに」、作家や作品の解説などの資料動画、技法・用具の動画など様々なデジタルコンテンツが二次元コードで示されている。ICT機器の活用場面を多数掲載し、活用を示すマークを表示することで、生徒自身で取り組みやすい工夫がなされている。また、巻末資料の紙面下部にウェブ検索の手掛かりとなる言葉が例示されている。
- ⑤ 日本の伝統工芸では岡山県の撫川うちわとそれを鑑賞してから制作された生徒作品が掲載されている。見開きの屏風作品は、ページを折って立てることで本来の屏風のように鑑賞できるように、両面に印刷されるなど、作品のよさが味わえる工夫がなされている。「現代美術」や「パブリックアート」など美術を通して国際社会の平和や発展について考える内容が多数掲載されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

「美術1」、「美術2・3上」「美術2・3下」の3冊で構成され、3年間の成長に寄り添った題材を掲載している。表紙と各学年でどのようなことを意識して学ぶのか、学習の意義や内容が紹介されており、授業開きなどの教材として活用できるように示されている。各題材は見開き2ページを基本に、参考作品を大きく掲載し、「表現」と「鑑賞」を一体的に学習できるようになっている。また、作品には指示を明確にするための図版番号がつけられている。各題材ごとに主文で必要な造形的な見方・考え方を示し、さらに、導入動画のデジタルコンテンツが掲載され、題材の全体像を理解しやすいように工夫されている。全ての巻末の「学びを支える資料」では、技法や美術文化などを紹介している。

(3) 総合所見

「美術1」、「美術2・3上」「美術2・3下」の3冊で構成され、3年間の成長に寄り添った題材を掲載している。各題材ごとに主文で必要な造形的な見方・考え方を示し、さらに、導入動画のデジタルコンテンツが掲載され、題材の全体像を理解しやすいように工夫されている。題材導入動画「学びのはじめに」では題材の生成や何を学んでほしいのかなどが示されており、生徒自身が自主的に学習することも可能になる。美術作家だけでなく現在活躍する他ジャンルの著名人からのメッセージをのせ、美術への興味をもてるような工夫がなされている。多くの作品例や情報を載せているが、各ページに凝縮して掲載しているため、活字や画像がやや小さく、生徒によっては、少し読みづらい可能性がある。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	保健体育	種目	保健体育	
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2 東書		1年	2年	3年
		002-72	002-72	002-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、すべての章・単元で項目の最初に「キーワード」が設定されており、構成に統一感がある。文章のなかで「キーワード」が太字で記述されていたり、資料を見るタイミングも文中に示されたりと工夫が見られる。
- ② 各章に「活用する」の項目が設定されており、学習した知識を活用して、実生活に照らし合わせてより深く考えることができるようになっている。また、資料をもとに思考・判断・表現をする活動をしながら知識・技能を習得できる工夫が見られる。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、学習課題について「見つける」「課題の解決」「広げる」と1時間の主な流れが明確にされている。また、「広げる」では、学習したことを自分の生活に当てはめて考えられる発問になっており、自分事として捉える工夫がされている。
- ④ 多くのページにインターネットを活用した「Dマーク」コンテンツがあり、二次元コードを読み込んで手軽に資料や動画を見ることができる。他教科の関連内容やデジタル活用シートにつながり、学習内容の理解をさらに深めることができるようになっている。
- ⑤ 巻頭ではSDGs・テクノロジー・情報の活用と保健体育を関連づけた内容が記載されている。巻末にはスキルブックとしてコミュニケーションのとりかたや、応急手当の方法など現代を生きる生徒にとって必要なスキルが絵や図でわかりやすく取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

各学年に保健編と体育編が配列され、体育編は全9項目、保健編は全44項目で構成されている。資料が多く配置されており、みやすい。Dマークコンテンツで動画視聴や資料を見ることが簡単にできる。章末資料や巻末スキルなど発展的な学習に対応している。

(3) 総合所見

基本的には、「見つける」「課題の解決」「広げる」の順で構成され、1時間の主な流れが明確に分かり、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫がされている。1ページに示されている資料が多く、資料を読み取り、思考・判断・表現しながら知識・技能を習得できる工夫がされている。文章と資料のバランスが同じくらいの構成になっていて、中学生にとって活用しやすくなっている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	保健体育	種目	保健体育	
発行者番号・略称		教科用図書番号		
4 大日本		1年	2年	3年
		702	702	702

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 全編「学習のねらい」「つかもう」「やってみよう」（「話しあってみよう」）「活用して深めよう」から構成されている。基礎基本の定着に向けて、左ページに本文、右ページに資料が分けて示されており、本文を読んでから資料を見て理解を深めることができる。各項の最後に、学習のキーワードがまとめられている。
- ② 「活用して深めよう」では、1ページで習得した知識・技能を活用しながら学びをより深める課題に取り組めるようになっている。また、章末には「学びを活かそう」が設けられており、学習したことを生かし意見を記述できるようになっている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、導入の活動で「つかもう」が設けられており、学習の初めに、身の回りのこと、自分や友達の経験など身近な疑問や興味をもって学習に取り組める工夫がされている。「やってみよう」では、集団で話し合う活動、自分の考えをまとめる活動が多く設定されている。
- ④ デジタルコンテンツの量は少ないが、関連した内容を学習するページや他の教科とのつながりを示すマークが記載されており、つながりのある学習に結び付けれる工夫がされている。グラフや資料が大きく、見やすく示されている。
- ⑤ 「地域マーク」や「家」マークが示されており、家や地域で取り組みたい活動を生徒自身が考えることができる工夫がされている。枠外に生活に直結するミニ知識が示されており、情報活用能力の向上が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

各学年に体育編、保健編が配列されており、体育編は全9項目、保健編は全40項目が構成されている。左ページに本文、右ページに資料が示されているため本文と資料のリンクがしづらい部分もあるが、表やグラフの資料は多く、学びを深める工夫がされている。各項目にトピックスがあり、学習内容と関連深い話題や読み物が示されている。

(3) 総合所見

「学習のねらい」「つかもう」「やってみよう」（「話し合ってみよう」）「活用して深めよう」の順で構成されている。左ページに本文、右ページに資料が示されているため1時間の授業の流れはつかみやすい。章末資料に「学びを活かそう」が設けられているため、単元を通して学んだことを活用して意見を記述する力を身につけることができる。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	保健体育	種目	保健体育	
発行者番号・略称		教科用図書番号		
50 大修館		1年	2年	3年
		050-72	050-72	050-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着へ向けて、本文中では段落ごとに着色し、要点を抑えやすくする工夫がされている。『課題をつかむ』では、過去の実体験や身近なものを話題として取り上げ自分事として考えられるように工夫されている。
- ② 学習のまとめでは、知識・技能を活用するために、グループワークが設定されており、自分で考えをまとめたり、他者の意見を聞いたりすることができ、実生活へ生かすことができる。章のまとめでは、観点別に問題があり、自分の考えを記述する欄も設けられている。
- ③ 単元ごとにめあてが二つ示され、単元のゴールが明確であり、主体的に取り組めるように工夫されている。また、二次元コードを読み取れば、『保体クイズ』がダウンロードされ自主的に復習できるように準備されている。
- ④ コラムや事例では本文に対する興味をもたせる情報、またWeb保体情報館では、学習を深めるための情報を得ることができる。二次元コードで読み取り動画説明されているところもあり効果的に知識を得ることができ課題解決へつなげることができる。
- ⑤ 全体的に 1 ページの文字や資料の量が多く、情報量が多い。本編の学習ページとは別に、学習内容に関する特別資料やコラムが多く掲載しており、考える力や情報を活用する能力を高める効果が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

各学年ごとに体育理論が前半 3 項目ずつ、保健分野が後半で全 48 項目で構成されている。本文の順に応じて資料が配置されており、みとりやすい。単元ごとに復習できる、保体クイズ（二次元コード）が付属している。章のまとめでは 3 観点に分けて評価問題が準備されている。文章量はやや多めだが、段落ごとの色付けで読みやすくできている。

(3) 総合所見

基本的には『今日の学習（めあて）』から『課題をつかむ（導入）』『学習のまとめ（グループワーク）』の順で構成され、課題解決的な学習の流れになっている。特集資料では発展的な内容が紹介されていたり、章のまとめでは観点別に分けて知識の定着や自分の考えをまとめたり、記述することによってアウトプットする場面も多く準備されていたりするなど充実している。保体クイズでは、気軽に学習に取り組めるなど全体的に多くの工夫がある。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	保健体育	種目	保健体育	
発行者番号・略称		教科用図書番号		
224 学研		1年	2年	3年
		224-72	224-72	224-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 章のまとめでは、重要語句のキーワードチェックリストで章の振り返りができる。また、振り返りチェック欄で基礎基本の定着が確認できるようになっている。本文では段落ごとに要点に対する発問（吹き出し）があるなど、基礎的な知識の習得のために工夫がされている。
- ② 『エクササイズ』『学びを生かす』では、課題解決的学習の内容が記載されており、自分で考えをまとめたり、他者の意見を聞いたりすることができ、実生活へ生かすことができる。章のまとめでは、『生かそう』『生活への活用』など記述しまとめる欄が設けられている。
- ③ 単元ごとに『わかる』『考える』と観点別のめあてが提示されている。単元のゴールが明確であり、主体的に取り組めるように工夫されている。欄外には、情報サブリ探求など自主的に調べてみたくなるような内容が記載されている。
- ④ 欄外に『リンク』で関係WEBサイトの紹介があったり、二次元コードを読み取れば外部リンクとつながるようになっていたりするなど、課題解決のための情報を集めることのできる工夫がされている。
- ⑤ 丸みのある柔らかいフォントの文字と広めの行間で、視覚的に読みやすい工夫がされている。本文に関連する表や資料が同じページに示されているので、わかりやすく、文章と資料を関連付けながら学習を進めることが期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

各学年ごとに体育理論が前半3項目ずつ、保健分野が後半で全36項目とそれぞれの章ごとに『探求しよう』が含まれて構成されている。文章量は要点がしぼられており少ない。本文の流れに沿って資料も掲載されている、字間や余白に余裕があり、視覚的な情報量が多すぎず、集中して教科書を見ることができる工夫がされている。写真よりも挿絵が多く使用されていて、必要な情報を読み取りやすくできている。

(3) 総合所見

基本的には、『学習の課題（めあて）』から『ウォームアップ（課題の発見）』『エクササイズ』（課題の解決）『学びを生かす（学びの活用）』の順で構成されている。課題解決的な学習の流れになっており、デジタルコンテンツの使用も含め、主体的・対話的な学びを実現するための工夫がされている。教科書見開きの情報量も多すぎず、本文と資料を集中して見ることができ玉野市の生徒にとって使用に適している。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	技術・家庭	種目	技術分野			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
2・東書				1年	2年	3年
				技術002—72	技術002—72	技術002—72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 全編を通して技術の見方・考え方を最適化というキーワードをもとに取り扱っている。技術の基礎基本の定着に向けて、「TECH Lab」の項目で基本的技能を作業ごとに見やすく集約し、習得しやすいよう工夫が施されている。1ページに記載されている情報が精選されており、大切なことがつかみやすく設定されている。
- ② 知識技能の定着を図るために、各編の終わりに学習のまとめを設定し、学びを振り返ることができるように設定されている。また、生徒の思考力・判断力・表現力を育成するために思考ツールが採用されている。生徒がアウトプットの機会を多くもてるように教科書の随所に話し合おうという活動が設定されている。
- ③ 生徒が主体的に学びに取り組めるように、技術による問題解決の具体的な課題設定方法やPDCAサイクルに基づいた学習の取り組み方などが教科書で説明されており、生徒は自ら教科書を使って学びを進めていけるように工夫されている。
- ④ 多くのページに二次元コードが付しており、テキスト情報のみでなく、映像や画像など様々な情報を生徒が収集できるように工夫してある。自身の考えをアウトプットする活動が多く設定しており、またその活動内容を思考ツールなどを使って具体で示しているため生徒の話し合う力や説明する力を育成しやすいと感じる。
- ⑤ 編末資料の「すごいぞ！技術」では、現在世の中でいかされている技術や、技術の知識・技能をいかして活躍している人物が多く紹介しており、生徒が自身の学習を自分のキャリアと結び付けてとらえることができるように設定してある。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

ユニバーサルデザイン書体を使用し、可読性が高められている。また、カラーバリアフリーの観点から配色とデザインについても検討がなされており、非常に見やすい構成になっている。文字と写真がバランスよく配置されており、それぞれのページの内容を生徒がとらえやすいように作られている。実習を行う際に参照するページが見開き1ページで収まっており実習時にわずらわしさを感じにくい。

(3) 総合所見

技術の「見方・考え方」を働かせた深い学びを実現できる教科書に仕上がっている。それぞれの学習内容が限定された条件の中で最適解を模索することをベースに構成されており、3年間の学習を通して技術の資質・能力を高めることができる作りとなっている。自身のアイデアや考えをアウトプットする活動が多く設定されており、非認知能力の育成にも有効であると考えられる。フォントや色もユニバーサルデザインを採用しており、誰にでも使いやすい教科書となっている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	技術・家庭	種目	技術分野			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
6・教図				1年	2年	3年
				技術006—73	技術006—73	技術006—73

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各項目の冒頭で「めあて」「キーワード」の項目により、育成すべき資質・能力が明確にされている。各編1章で身の回りの技術の工夫に気付かせるとともに、後の章で自身の身の回りの問題を技術をいかして解決できる構成になっている。
- ② 別冊のスキルアシストというコンパクトな資料は実習中に邪魔にならず、たくさんの図や写真によって生徒が困り感を感じた際に自ら調べて作業を進める助けとなっている。各章の終わりにはその章で学習したことをまとめるページが用意しており、生徒の知識の定着をより確かなものとしている。
- ③ それぞれの実習が生徒自身の問題解決を行うことをベースに設定されている。スキルアシストを中心として、自身が学びの中で困り感を感じた際に自分で調べることができるように内容が設定されているが、1ページに様々な内容が記載されており、図や写真の配置が不規則であるため、生徒自身が教科書を読み解くという観点では工夫が必要である。
- ④ 教科書の随所に二次元コードがちりばめられており、動画やWEBサイトによる追加の説明が設定されている。テキストのみではなく様々なメディア形式の情報を複合的にインプットすることができるため、生徒の情報活用能力の伸長が期待できる。対して、アウトプットする場面の設定は教科書の内容のみでは不足している。
- ⑤ コラムの技ビトでは、実際の社会で技術の学習内容を発展させて活躍している人物が紹介されており、生徒自身のキャリア形成のモデルとなっている。章の最後にある未来をつくろうでは、今までの学びをこれからの世の中に生かすという視点で学習がまとめられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

別冊スキルアップは実習時には重宝するものであるが、材料と加工に関する技術の資料が多く、エネルギー変換に関する技術の資料は実習をする際にやや不足であると感じる。学習とその後の問題解決の実習の流れが教科書でわかりやすく構成されており、教師が指導する際にも授業が展開されやすいように設定されている。1ページ内の図や写真の量が多いページがままあり、視覚的に捉えにくく感じる部分には工夫が必要である。

(3) 総合所見

生徒が主体的に問題解決を行うことを主目的として設定されている教科書だと感じた。限定された条件下の最適解の模索という技術の見方・考え方を働かせた学びを行うには内容が弱い。文字の大きさは読みやすく、実習中に机に置いたまま作業がしやすいなどの工夫がみられるが、それに対して写真は小さく配置されており見にくく感じる部分もあり工夫が必要である。学習した内容を振り返ることのできる構成は生徒の知識・技能の確実な習得に効果的であると感じるが、自身のアイデアや考えを他者にアウトプットする活動の設定は少ない。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	技術・家庭	種目	技術分野			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
9・開隆堂				1年	2年	3年
				技術009-72	技術009-72	技術009-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各項目の冒頭では、学習の目標や学習課題が明確に示されている。工具や部品等の名称が入った写真が掲載されている。各編では問題解決の流れ及び例を学習した後、製作過程で技能を学習する構成となっているため、基礎基本の定着を図ることができる。
- ② 随所で技術の見方・考え方の視点が色分けして示してある。問題解決の評価・改善では、レーダーチャートを利用し、技術の見方・考え方の評価ができるようになっている。各編のすべての実習例で問題発見から評価・改善までの流れを提示しており、改善例が示されているため、生徒が課題設定しやすい工夫がしてある。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために「やってみよう」では発展的な学習ができるように工夫されている。また「豆知識」や「参考」欄でそのページの内容と関連する話題が取り上げること、生徒の主体的な活動を促すようにしている。
- ④ 随所に二次元コードが付してあり、ネット上で作業やしぐみなどをわかりやすく説明する工夫がされているため、情報活用能力の育成が期待される。
各編3章の章末で、これからの技術について、可能性と課題にふれるとともに、活用について情報交換をする言語活動の場面が設定してある。
- ⑤ 「Interview」では、技術者への複数の質問とその回答が示されている。その質問の中には中学生へ向けたメッセージが記述してある。各編3章の章末で、これからの技術では、評価・活用、選択・維持・管理をキーワードに持続可能な社会の構築を考えさせる内容となっている。また、問題解決の振り返りシートではSDGsの実現に向けてどのように関わっているか振り返りができる工夫がされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

全体の分量が適切であり、学習内容がバランス良く各単元に配分されている。余白部分が多く、フォントの大きさもわかりやすく設定されているので、生徒にとって読みやすい教科書になっている。各編ともに、「生活や社会の技術を読み取る」「身の回りの課題に目を向け、自分なりに問題を解決するための課題を考え、技術によって課題に取り組む」「学習したことを社会に生かす」の順で、4編3章で構成されている。左ページの上部に見出しが統一してあり、見開きで学習できるようページ配置されている。

(3) 総合所見

各ページの構成が統一されており、ユニバーサルデザインの観点からも学習者にとってわかりやすいレイアウトである。また、学習内容が見開きページに収まっており、学習者が学習課題を捉えやすいため、学習者が身につけるべき資質・能力が明確化されている。材料と加工の技術の観点において、製作のための技能が多ページにわたって示されている。エネルギー変換に関する技術の観点において、機械に関する内容が多い。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	技術・家庭	種目	家庭分野
発行者番号・略称			教科用図書番号
2・東書			1年
			2年
			3年
			002-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、各編の終わりに「学習のまとめ」のページがあり、学習した内容を確認できるようになっている。また、「大切な用語の確認」とその説明のページが記載されており、生徒自身で学習の振り返りがしやすくなっている。基礎技能のページの「調理」「衣服の手入れ」「ミシンの使い方」では、作業過程を細かく写真で示しており、丁寧でわかりやすい。
- ② 知識技能を活用するために、「考えてみよう」の内容が設定されており、実生活で活用するために効果的である。また、思考を促すシンキングツールの活用例が掲載されている。「生活の課題と実践」では、進め方や考える視点が具体的に示されており、授業で身につけた知識技能を使って課題を解決する流れになっている。
- ③ 生徒が、主体的に学習に取り組むために、「Dマーク」が掲載されており、二次元コードを読み取ると関連のホームページにリンクするようになっていたり、調理実習では、調理例の写真が大きく載っていたりすることで、生徒が自主的に学習しようとする意欲につながる工夫がされている。
- ④ 学習の始めにできる簡単な活動の例がたくさんあり、言語活動の充実が図りやすい。言語活動を想定した「考えてみよう」では、教科書に直接自分の考えを書き込むことができるようになっており、主体的・対話的で深い学びに向けたグループワーク等を導入しやすい構成になっている。また、ロールプレイングの活動例もあり、「自立と共生」に向けた言語活動も充実している。
- ⑤ 高齢者との関わり方について、介助の方法に加えて声の掛け方まで掲載されており、実践的・体験的な学習において、資料が充実している。また、将来や社会とのつながりを感じられるプロのメッセージは、キャリア教育に役立つ内容であり、本市の取組に適した内容となっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

「食物アレルギー」「日本各地の住まいの例」など独自の資料が豊富であり、充実している。1ページの情報量が多く、指示の内容に注目させる場合に、指示の仕方に工夫が必要である。冒頭にガイダンスと内容A「成長と家族・地域」の一部の内容が示されている。学習指導要領の内容B「食生活」「衣生活」「住生活」が2～4編、内容C「消費生活と環境」が5編、内容A「成長と家族・地域」が6編の順になっており、「自立から共生」を意識した配列となっている。「生活の課題と実践」は巻末にまとめて例示されている。

(3) 総合所見

教科書全体を通して、生徒の主体性を引き出す様々な工夫がされており、「自立と共生」を目指すことのできる教科書となっている。冒頭のガイダンスで「自分の生活チェック」が設けられ、学習前と学習後の変化が実感しやすいようになっている。「災害への対策」では、避難所や仮設住宅での暮らしの資料があり、備えだけでなく被災後の話もあることから、防災教育に大変効果的である。しかしながら、実習のページの文章での情報量が多く、使用の際、配慮が必要である。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	技術・家庭	種目	技術分野			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
6・教図				1年	2年	3年
				技術006—73	技術006—73	技術006—73

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各項目の冒頭で「めあて」「キーワード」の項目により、育成すべき資質・能力が明確にされている。各編1章で身の回りの技術の工夫に気付かせるとともに、後の章で自身の身の回りの問題を技術をいかして解決できる構成になっている。
- ② 別冊のスキルアシストというコンパクトな資料は実習中に邪魔にならず、たくさんの図や写真によって生徒が困り感を感じた際に自ら調べて作業を進める助けとなっている。各章の終わりにはその章で学習したことをまとめるページが用意しており、生徒の知識の定着をより確かなものとしている。
- ③ それぞれの実習が生徒自身の問題解決を行うことをベースに設定されている。スキルアシストを中心として、自身が学びの中で困り感を感じた際に自分で調べることができるように内容が設定されているが、1ページに様々な内容が記載されており、図や写真の配置が不規則であるため、生徒自身が教科書を読み解くという観点では工夫が必要である。
- ④ 教科書の随所に二次元コードがちりばめられており、動画やWEBサイトによる追加の説明が設定されている。テキストのみではなく様々なメディア形式の情報を複合的にインプットすることができるため、生徒の情報活用能力の伸長が期待できる。対して、アウトプットする場面の設定は教科書の内容のみでは不足している。
- ⑤ コラムの技ビトでは、実際の社会で技術の学習内容を発展させて活躍している人物が紹介されており、生徒自身のキャリア形成のモデルとなっている。章の最後にある未来をつくろうでは、今までの学びをこれからの世の中に生かすという視点で学習がまとめられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

別冊スキルアップは実習時には重宝するものであるが、材料と加工に関する技術の資料が多く、エネルギー変換に関する技術の資料は実習をする際にやや不足であると感じる。学習とその後の問題解決の実習の流れが教科書でわかりやすく構成されており、教師が指導する際にも授業が展開されやすいように設定されている。1ページ内の図や写真の量が多いページがままあり、視覚的に捉えにくく感じる部分には工夫が必要である。

(3) 総合所見

生徒が主体的に問題解決を行うことを主目的として設定されている教科書だと感じた。限定された条件下の最適解の模索という技術の見方・考え方を働かせた学びを行うには内容が弱い。文字の大きさは読みやすく、実習中に机に置いたまま作業がしやすいなどの工夫がみられるが、それに対して写真は小さく配置されており見にくく感じる部分もあり工夫が必要である。学習した内容を振り返ることのできる構成は生徒の知識・技能の確実な習得に効果的であると感じるが、自身のアイデアや考えを他者にアウトプットする活動の設定は少ない。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	技術・家庭	種目	技術分野			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
9・開隆堂				1年	2年	3年
				技術009-72	技術009-72	技術009-72

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各項目の冒頭では、学習の目標や学習課題が明確に示されている。工具や部品等の名称が入った写真が掲載されている。各編では問題解決の流れ及び例を学習した後、製作過程で技能を学習する構成となっているため、基礎基本の定着を図ることができる。
- ② 随所で技術の見方・考え方の視点が色分けして示してある。問題解決の評価・改善では、レーダーチャートを利用し、技術の見方・考え方の評価ができるようになっている。各編のすべての実習例で問題発見から評価・改善までの流れを提示しており、改善例が示されているため、生徒が課題設定しやすい工夫がしてある。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために「やってみよう」では発展的な学習ができるように工夫されている。また「豆知識」や「参考」欄でそのページの内容と関連する話題が取り上げること、生徒の主体的な活動を促すようにしている。
- ④ 随所に二次元コードが付してあり、ネット上で作業やしきみなどをわかりやすく説明する工夫がされているため、情報活用能力の育成が期待される。
各編3章の章末で、これからの技術について、可能性と課題にふれるとともに、活用について情報交換をする言語活動の場面が設定してある。
- ⑤ 「Interview」では、技術者への複数の質問とその回答が示されている。その質問の中には中学生へ向けたメッセージが記述してある。各編3章の章末で、これからの技術では、評価・活用、選択・維持・管理をキーワードに持続可能な社会の構築を考えさせる内容となっている。また、問題解決の振り返りシートではSDGsの実現に向けてどのように関わっているか振り返りができる工夫がされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

全体の分量が適切であり、学習内容がバランス良く各単元に配分されている。余白部分が多く、フォントの大きさもわかりやすく設定されているので、生徒にとって読みやすい教科書になっている。各編ともに、「生活や社会の技術を読み取る」「身の回りの課題に目を向け、自分なりに問題を解決するための課題を考え、技術によって課題に取り組む」「学習したことを社会に生かす」の順で、4編3章で構成されている。左ページの上部に見出しが統一してあり、見開きで学習できるようページ配置されている。

(3) 総合所見

各ページの構成が統一されており、ユニバーサルデザインの観点からも学習者にとってわかりやすいレイアウトである。また、学習内容が見開きページに収まっており、学習者が学習課題を捉えやすいため、学習者が身につけるべき資質・能力が明確化されている。材料と加工の技術の観点において、製作のための技能が多ページにわたって示されている。エネルギー変換に関する技術の観点において、機械に関する内容が多い。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	外国語	種目	英語			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
2 東書				1年	2年	3年
				002-72	002-82	002-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、各パートごとに「Key Sentence」で新出文法が簡潔にまとめられており、「Practice」でドリル練習、「Activity」で表現の活用と文法定着の工夫がなされている。また、デジタル教科書では、新出単語や新出文法をクイズ形式で練習することができる。第1学年では、「Sounds and Letters」でフォニックスの練習もでき、基礎基本の定着に役立つ。
- ② 第1学年のUnit4までは「Enjoy Listening」、それ以降は「Preview」でコミュニケーションを行う目的、場面、状況を理解できる導入がなされている。知識技能を活用するために「Unit Activity」が設定されており、Unitで学習した内容を踏まえて、書いたり、話したりする自己表現活動が設定されている。また、「Real Life English」では実用的な場面が取り上げられており、生徒が実生活の中で英語を活用する場面を想像しやすい工夫がみられる。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、Unitごとに二次元コードが掲載されており、音声再生はもちろんだが、クイズや文法解説動画を利用して生徒が自分のペースで学習を進めることができる。また、「学び方コーナー」では学習のコツが紹介され、「Grammar for Communication」では新出文法がわかりやすくまとめられており、復習がしやすく、学びに向かう姿勢を養うことが期待できる。
- ④ 第1学年では、「ダイバーシティメモ」や「Colum」が充実しており、他国や異文化への関心を高める工夫がされている。また、「Learning in English」では他教科の題材を英語で話したり書いたりする活動が取り入れられており、教科横断的に学習を行うことができる。
- ⑤ SDGsに関する内容や職業体験、東日本大震災などが題材として取り上げられているため、総合学習とも関連付けて学習を深めることができる。また、教科書に登場する人物も、人種やバックグラウンドが様々で生徒の視野を広げることに効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

各Unitで4技能5領域がバランスよく配分されている。第1学年では、小学校の復習や対話文中心の構成となっており、生徒が理解しやすい工夫がなされている。巻末の資料編では単語や「Key Sentences」などがまとめられており、生徒が言語活動で自己表現をする際に使いやすい。また、Small Talk用に「Expression List」が各学年についており、生徒の即興性を高めるために効果的である。

(3) 総合所見

4技能5領域がバランスよく配分されている。教科書のレイアウトもすっきりとしていて見やすい。取り上げられる題材も日本のポップカルチャーなどの身近なものから、国際協力について考えるような題材もあり、生徒が様々な視点からコミュニケーションを図る機会がある。デジタル教科書では、本文や単語の読み上げ以外にも、基礎基本の定着を図るためのクイズや書き込み機能が充実しており、主体的に学習に取り組む資料が多く掲載されている。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	外国語	種目	英語			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
9.開隆堂				1年	2年	3年
				009-72	009-82	009-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各単元は、「Scenes」、「Tuning in」、「本文」、「Review&Retell」、「Action」で構成。特に前半部分の「Scenes」で新出文法をマンガ形式で簡潔にまとめており、新出文法の合理的な導入が可能であり、基礎基本の定着が図れる工夫がなされている。
- ② 本文読了後の「Review & Retell」では、本文内容を整理して自分のことばで話すことが求められる。また、パフォーマンス課題である「Our Project」が学期に1回、それに至るまでに段階的に能力を育成するための「Step for Our Project」がそれぞれの学年で5～6回設定されており、段階的に資質・能力を向上させるために効果的である。
- ③ 各単元の「Tuning in」では、本文の題材に関する「Quiz」や「Information」があり、本文の題材に興味をもって意欲的に学習に臨むことが期待される。各パートには二次元コードが掲載されており、生徒が自分のペースで学習をすすめることができる。
- ④ 「Our Project」では、それまでに学んだ表現やできるようになったことを使ってパフォーマンス活動を行うために、聞く活動から読む、そして書く、話す活動が段階的に取り入れられている。「話すこと」の様々な場面が設定されており、スピーチ、プレゼンテーション、道や店内などでの応答、ポスターセッション、ディスカッションなど、3年間で様々な形態の「話すこと」を通して、目的、場面、状況に応じた、確かな即興力の育成が期待される。
- ⑤ 題材として、「Work Experience」で様々な職業について記述されている。また、「High-Teck Nature」、「Robots Can Improve Quarity of Life」では発明や発見、産業等について扱われており、働くことや職業への興味付けになり得る。また、日本のおすすめスポットを紹介するOur Projectが設定されており、身近な地域の魅力に気付くきっかけになることが期待される。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

巻末の「Word Web」では語彙をカテゴリー別にまとめており、生徒が自分の伝えたい内容を自分で調べて発信できる工夫がなされている。また、同じく巻末の「Small Talk 表現集」では、教科書下部に掲載されたSmall Talkなどを行う際に使える表現をまとめており、生徒が自己表現しやすいよう配慮されている。各本課の本文は1年生の初期から3年生にかけ段階的に増えているが、各本課の本文とReadingの課では文章量に差があるため、Readingの指導をする際には配慮が必要である。

(3) 総合所見

1年生1学期に学習する内容が精選されており、スムーズな小中接続が意識されている。学習のハイライトとして「Our Project」を設置し、生徒が到達目標としてイメージしやすい。単元構成全体においても発信力の育成に重点を置いたつくりになっている印象が強い。巻末には生徒の主体的な学習をサポートする工夫が多くみられる。一方で、扱われる読み物の分量が各本課の本文とReadingの課の文で差があるため、Readingの指導をする際には配慮が必要である。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	外国語	種目	英語			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
15・三省堂				1年	2年	3年
				015-72	015-82	015-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、「Scene」のページが設けられており、文法事項や文構造、語句・表現などを、4技能の活動を通して身につける工夫がなされている。デジタル教科書で録音ができ、英単語はクイズ形式で練習ができる。文法解説動画がついており、新出文法の定着に役立つ。
- ② 知識技能を活用するために、各単元の最後にはGoal Activityが設定されており、既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、まとまりのある英文の概要や要点を捉える力を養うのに効果的である。また、Goal Activityは単元によって書く・話す（発表・やり取り）と異なっており、生徒の発信力を総合的に養うことができる。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、Sceneパートではその単元に合ったSmall Talkが用意されており、生徒が実際に言語を使う場面で活用する力を身につけることが期待できる。また、各単元のGoal Activityでは、それまでに培った知識と技能を活用して表現したり、伝え合ったりできるよう工夫がされている。
- ④ 他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、日本の文化、他国の文化や環境問題、震災学習、人種差別、平等や公平等にも触れられており、探究的な学びが期待できる。また、Small Talkが「Scene」の最初にあり、生徒の即興力や、会話を持続させる力の育成が期待される。
- ⑤ 平和学習等が題材にとりあげられ、本市が実施している総合学習との関わりにおいて大変効果的である。また、教科書に登場する人物は、性別や人種、身体的特徴などについても多様化されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

全体の分量が適切であり、4技能5領域がバランスよく各単元に配分されている。カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色が避けられ、形、記号・番号、説明文などの補助的な手がかりが設けられている。また、游明朝体とUD デジタル教科書体で英文が書かれており、特別支援を要する生徒にも見やすく、わかりやすい。Small Talkや巻末に自己表現活動に便利な単語や語句のページが設けられており、使いやすい。

(3) 総合所見

5領域のバランスに配慮し、統合的に学習できるよう工夫されている。構成がわかりやすく、レイアウトも適度なスペースが確保されており、見やすい。デジタル教科書では音声の確認や録音機能で自身の発音確認ができる。文法事項の動画をタブレットで見ることでもでき、家庭学習を支援する資料が充実している。本文のフォントが学年やデジタル教科書では字体が変わるため、読みづらい生徒もいると予想される。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	外国語	種目	英語			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
17・教出				1年	2年	3年
				017-72	017-82	017-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、各Lessonが対話で始まるものが多く、生徒が状況を想定しやすい。また、その対話の中で「Key Sentence」がどのように使われるかが記述されており、「Tool Kit」や「Let's Listen」で文字や音声での練習を通して定着を図る工夫がなされている。
- ② 知識技能を活用するために、各Partの中の「Think & Try」の部分やTaskのページで、生徒が既習事項を用いて自由な表現ができるように設定されており、やり取りや発表の練習をしたり書き込みをして確認したりするのに効果的である。
- ③ 生徒が自主的に学習に取り組むために、各ページに二次元コードが印刷されており、教科書本文のモデルリーディングを聞きながら音読練習をしたり、動画での解説を視聴したりして理解につながる学習ができるように設定されている。
- ④ TipsではListeningやSpeakingなどの各技能のコツを、「Useful Expressions」では日常的な場面で使える表現を紹介するなどの配慮がなされており、生徒が自発的に活動に取り組むことで、よりスムーズなコミュニケーション能力の育成が期待できる。
- ⑤ 各学年で、SDGs、科学や諸外国についてなど扱う内容が多岐にわたり、教科横断的な学習ができると考えられる。また、福祉や職業などキャリアに関する内容も盛り込まれており、英語の授業においても生徒が将来について考える機会となりうる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

各Lessonが、対話文から新出文型の確認と練習を経て定着に結び付く流れとなっている。
1、2年生の単元がそれぞれLesson 9 まであり、量的には若干多いと思われる。その分、3年生の教科書内容がLesson 7 までと少なくなっており、まとめや総合的な演習ができるように設定されている。対話文を多く取り入れているため、実際の話の流れがとらえやすく、生徒が場面や状況を理解しやすい。

(3) 総合所見

各Lessonとも、5つの領域を総合的に学習できるように内容が盛り込まれている。また、扱っている題材も多岐にわたり、様々な分野に着目することで、生徒が興味をもって取り組めるように工夫されている。全体的に英文の量が多く、内容をつかませるためには時間がかかることが想定される。そのため、苦手感をもっている生徒とそうでない生徒の間での技能の習得の差異が大きくなることが考えられる。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	外国語	種目	英語			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
38光村				1年	2年	3年
				038-72	038-82	038-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、Part1～Part3では、「本文」「Listen」「Speak」「Write」と4技能を通して新出文法を定着させる工夫がされている。「基本文」に新出文法が簡潔まとめられており、わかりやすい。また、デジタル教科書には文法解説動画もついており、自分のペースで学習を進めることができる。
- ② 知識技能を活用するために、各Unitの最後の「Goal」や複数Unit後の「You Can Do It!」では目的・場面・状況を明確にした自己表現活動が設定されている。「Goal」「You Can Do It!」では各Unitごとに、書く活動や話す活動と異なっており、総合的に生徒の発信力を養うことができる。帯活動教材にはStory Retellingや即興で会話の練習ができるようなものが掲載されており、使いやすい。
- ③ 巻頭には「なぜ英語をまなぶのでしょうか?」という英語学習に対する価値づけが行われており、生徒の学習意欲を高めることが期待される。また、各学年に「英語の学び方ガイド」があり、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫がされている。
- ④ 「You're the Writer」では、対話文の中で最後にセリフを考える活動が配置されており、生徒の即興性と会話を持続させる力の育成が期待される。また、付録の「World Tour」では、世界中の中学生や世界で活躍する人などが紹介されており、生徒が海外に関心を持ち、視野を広げるのに効果的である。
- ⑤ 題材として自分の地域の観光プランを考えたり、かるたで地域のPRをする活動が取り上げられており、生徒が暮らしている地域の魅力に気づき発信する力を養うことができる。また、単元に平和学習や防災が取り上げられており、実際の総合的な活動とも結びつけて学習を深めることができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

各学年8単元で構成されており、4技能5領域がバランスよく配置されている。各学年で対話文を多く取り入れているため、生徒が内容を理解しやすく、実際のやり取りのモデルとすることができる。「Let's Read」で取り上げられている題材は、物語や羽生選手のインタビューなど生徒の関心を引き付ける題材が多いが、文章量に差があり、指導の際には配慮が必要である。

(3) 総合所見

全体の分量が適切であり、5領域をバランスよく学習することができる。対話文が多く取り上げられているので、学習した新出文法がどのように表現されるかわかりやすい。また、デジタル教科書では対話文のアニメーションを見ることができ、生徒が場面を理解しやすくなっている。扱われる読み物の分量には差があるため、1単位時間での計画を立てる際には配慮が必要である。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	外国語	種目	英語	
発行者番号・略称				教科用図書番号
61・啓林館				1年
				2年
				3年
				061-72
				061-82
				061-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、「Target」で新出文法を確認し、新出文法を使った本文や「Listen」「Speak」「Write」二次元コードを活用することで家庭でも文法動画を視聴したり、発音の確認、リスニングを行うことができる。
- ② 知識技能を活用するために、「Unit」ごとに4技能5領域を統合的に扱う活動が設定されている。
Express Yourself では、単元に合った話題などに関して自然な流れで自分の意見をまとめて述べるができるように工夫されている。
Projectでは複数の単元で身に着けた知識・技能を活用するのに効果的な題材が取り上げられている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、二次元コードが「Part」ごとに掲載されており、単語や本文の動画、文法解説動画を各自視聴して、復習したり、確認したりすることができる。
英語の学び方では豊富な英語学習の方法を紹介しており、生徒が自分に合った学び方を見つけるのに役立つ。
- ④ 他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、日本の文化、ユニバーサルデザイン、気候変動、防災等にも触れられていて、探究的な学びが期待できる。また、各「Unit」には「Express Yourself」が設けられており、生徒の「話すこと」「書くこと」の能力を継続的に育成することができる。
- ⑤ 平和学習や職場体験等が題材にとりあげられ、本市が実施している総合学習との関わりにおいて大変効果的である。また、自分の地域の食べ物について考える単元では、生徒が暮らしている地域への魅力に気づき発信する力を養うことができる。構成がパターン化しているので特別な支援を要する生徒も学習しやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

全体の分量が適切であり、学習内容がバランスよく各単元に配分されている。巻末に自己表現活動に便利な単語や語句のページが設けられており、使いやすい。字体が学年やデジタル教科書で変わるため、変わるため読みづらい生徒もいると予想される。二次元コードが設置されており、各パートにTargetのまとめがあり、復習ができるように設定されている。

(3) 総合所見

全体的に、5領域が適切な分量で配置されており、Partで新出文法を確認し、ThinkやProjectでの活動を通して書くことや話すこと（発表・やり取り）の能力を段階を踏んで習得できる工夫がなされている。学年やデジタル教科書によって、本文のフォントが変わるため、読みづらい生徒もいると予想される。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科 道徳	種目	道徳	
発行者番号・略称				教科用図書番号
2・東書				1年
				2年
				3年
				2-72
				2-82
				2-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① HPに音声データが収録されており、音読しなくても聞き取ることができる。また、動画（NHK for School）を見たり、あらすじを4コマ漫画で確認できたりと、文章に苦手意識を持つ生徒も授業に参加できるように配慮がなされている。
- ② 教材冒頭に「学習のテーマ」があり、生徒相互に観点を共有したうえで学習が進められるだけでなく、教材末に「ぐっと深める」を置き、より深く考えられるように工夫されている。さらに中心発問や自己を見つめる発問によって、考えたことが多面的・多角的に深まるような構成となっている。
- ③ 定番とされる教材だけでなく、ユーチューバーや分身ロボットなど生徒に身近な題材を扱う教材や、防災、SDGs、多様性など現代的な課題を考える教材が豊富に用意されている。さらに、読み物のほかにも動画や写真、イラストなどの多様な教材が豊富に掲載され、活発な議論が期待できる。
- ④ 情報モラルやソーシャルスキル、体験的な学習、哲学対話、人物など、内容豊富なコラムが用意（全学年）されていて、授業の導入や終末、自宅学習など、学んだことをさらにいろいろな場面で、深めたり広げたりできる。
- ⑤ 国際理解・国際貢献を主題に設定された題材が用意されており、学習を通して世界中のいろいろな民族の存在を受け入れられるような人権意識の涵養が期待できる。これは、今後さらに外国人観光客を受けいれようとする玉野市にとっては必要な内容と考えられる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

年間35時間分の題材として、35題材と4付録題材が取り上げられている。「いじめのないせかいへ」、「いのちを考える」というテーマで、全学年を通して題材が掲載され、1つのまとまりとして学習できるように工夫されている。巻末では、全学年、気持ちを可視化する「心情円」が折り込み頁に配置されている。教科書の大きさ、紙自体の軽量化、読み間違い対策としてのUDフォント、色覚特性対策など学習者である生徒へのさまざまな配慮がなされている。

(3) 総合所見

教材として現代社会の抱える課題が多数掲載され、生徒が自分事として考え、その解決に向けて、考え続けようとする意欲を育てることに期待される。心情円などを活用することで客観的に自分自身も見つめることができる。「考えよう」、「見つめよう」では、題材について考える道筋を示すとともに、役割演劇や協働的な学習などが盛りこまれ、生徒自身の考えの整理や新たな気づきなどが期待できる。題材の終わりの見つめようをぐっと深めるでは、キャラクターのつぶやきをもとにさらに考えを深められるように工夫がなされ、生徒がより多面的・多角的に物事をとらえて考えられるように配慮がなされ、深い学びへと導く構成となっている。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科	道徳	種目	道徳	
発行者番号・略称				教科用図書番号	
17・教出				1年	2年
				17-72	17-82
					3年
					17-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 生徒の発達段階に即した教材が系統的に配置されており、小学校から中学校、そして高等学校へと道徳の学びがつながるように配慮がなされていて、他教科や特別活動の時間とも効果的に関連づけて、学びを広げることができるものと考えられる。
- ② 学校や生徒の実態に合うような教材が多く、どの生徒にとっても理解しやすくなるような発問が用意されている。さらに、生徒の「考えたい」「話し合いたい」という感情を引き出し、主体的・対話的で深い学びへと導くような工夫がなされている。
- ③ 多様な人物の生き方に触れられる教材により、多様性を尊重する心が育まれ、自分らしく生きようとする意欲が高まるものと期待される。また、生徒自身が持続可能な社会の創り手として、未来を考えることにより、将来のウェルビーイングへとつながるものと考えられる。
- ④ 「まなびリンクは」各教材に2次元コードが付され、授業や家庭学習に役立つ動画や写真、図版、ワークシートなど、充実したデジタルコンテンツとなっている。これらを活用することで、生徒の主体的な学びや個別最適な学びの一助として期待できる。
- ⑤ 国や郷土の伝統文化に関する題には、福岡県「博多祇園山笠」、職を巡る作文コンクール「すまんじゅう」などが取り上げられていて、改めて自分の住む地域に目を向けられるようになっている。国際理解や国際平和に関わる題材として、杉原千畝や緒方貞子などが取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

年間35時間分の題材として、30題材と5つの補充教材が用意されている。全学年「いじめをなくそう」、「つながり合って生きる」、「いのちをかがやかせる」というテーマで、連続して題材を掲載し、まとまった学習ができるように配置されている。

(3) 総合所見

教科書にはUDフォントやカラーユニバーサルデザインが採用され、より多くの生徒にとって読みやすく見やすくなるように配慮がなされている。全体を通して色味を抑えることによって、配色による生徒の心情への影響に配慮がなされている。題材ごとに教科書の冒頭に導入の問いがあり、生徒を教材へと向かわせ、終末の道しるべで考えを深めることが期待できる。巻末には、学期、学年の終わりに道徳の授業で考えたことをまなびを振り返る頁が用意されている。各教材に二次元コードが付されているが、サイズが小さいため、タブレットで読み取りにくい。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科道徳	種目	道徳			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
38・光村				1年	2年	3年
				038-72	038-82	038-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「考えよう」では、テーマに迫る問い、展開での発問が2つ示されているので、学習の流れが分かりやすく、道徳的価値の理解を深めることができるようになっている。「学びの記録」があることで、1年間の学びを書き残せるようになっている。
- ② 「まなびの道具箱」により、思考ツールが紹介されているので、自分の考えを明らかにでき、よりよい考えになるよう判断しやすくなっている。「見方を変えて」では、別の立場や視点から考えられるような問いになっていて、多面的・多角的な考えに広がるよう工夫されている。
- ③ 「やってみよう」では、自分だけでなく、様々な立場の気持ちを考えられ、他の場面にも活用できる。「つなげよう」では、日常生活への呼びかけがあり、これからの生き方を考える機会となる。複数教材のユニット学習、「まなびをプラス」で連続して考えることで学んだことを深めていく工夫がある。
- ④ 「やってみよう」では、よりよい関係を築く取り組みが紹介され、友達と対話する楽しさを体験できる。話し合いの進め方が示されていて、問題解決能力を育てていく取り組みを促すようになっている。「チャレンジ」では、役割演技などイラストで示されていて、道徳的価値の意義などを考える機会となる。
- ⑤ キャリア教育に関する教材が充実していて玉野市の生徒にとって考え続ける意欲を育てることが期待される。「まなびの準備」では、自分の地域の特長を書く込めるようになっていたり、コラムにより現代的な課題を知るきっかけとなったりすることで、生徒自身がこれからの社会のあり方を考えることができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

9つのユニットで共通するテーマを連続して配列され、問題意識を継続しながら考えを深めていくことが期待される。二次元コードにより、教材に関連する動画を視聴できるようになっている。縦書きの教材文の最後に、「考えよう」が横書きになっていることで、読みにくさを感じる生徒がいるかもしれないことが懸念される。

(3) 総合所見

9つのユニットで構成されているので、関連的に学習を継続することが可能となり、学びが広がるよう工夫されている。学習のテーマやテーマに迫るための問い、別の立場から考える問いなど発問を示していることで、問題意識をもって学習に向かい、生徒が多面的・多角的に考えるように工夫されている。さらに、他教科との関連を図ることで、道徳的価値の理解を深めることの効果が期待される。

令和 7 年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科道徳	種目	道徳			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
116・日文				1年	2年	3年
				116-73 冊 16-74	116-83 冊 16-84	116-93 冊 16-94

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 教材末に「考えてみよう」で教材に関する発問と、「自分にプラスワン」で自分を問う発問があり、道徳的価値についてみんなで話し合い、考えを深める中で生まれた新たな気づきを意識できるよう工夫されている。ミニ教材により、3つのステップで学び方が示されている。
- ② 道徳ノートがあることで、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして考えを整理したり、これからの自分の生き方を考えたりしながら書き留めることができる。毎時間ノートを書くことで、表現力が身に付くこと機会される。
- ③ 「よりよい社会を考える」などのユニットで、複数の教材と「視野を広げて」やコラムを組み合わせられることで、学びを深めるように工夫されている。発展的な学習として「あすへのメッセージ」の教材の人物からの言葉があり、これからの生き方のヒントになるのではないかと考える。
- ④ 「学びを深めよう」では、役割演技の見る視点が示されていて、話し合いが活発になるよう工夫されている。また、道徳的行為を追体験することで、実際に行うことの難しさを捉えながらも、道徳的価値の大切さを自覚することができるようになっている。
- ⑤ 中学校での復活した郷土芸能など、受け継いでいこうとする思いが捉えやすく、自分たちの郷土の文化の継承を考えるきっかけになる。国際平和で活躍されている人物などが取り上げられていて、生徒にとっては世界に目を向け、現代社会の問題を捉えるきっかけとなり、物事をより広く考えることができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

別冊で道徳ノートがあることで、自分の考えを見直すことができるが、1つの教材につき2つの書く欄があり、自由度の高いノートになっている。「いじめ」など同じテーマのユニットが複数用意されていることで、毎学期取り組むことができるよう配列されている。全ての教材に二次元コードがあり、動画や音声を用意されている。

(3) 総合所見

教科書と道徳ノートの両方があることで、毎時間の自分の考えを書き留めて自らを振り返ってこれから生き方を考えることができるようになる。終末の自分に関する発問により、これからの課題を生徒自身が受け止めると期待される。繰り返し同じテーマのユニットがあることで、学んだ道徳的価値前を思い出しながら考えていくことで、考え方の高まりを促すことができる。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科道徳	種目	道徳			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
224・学研				1年	2年	3年
				224-72	224-82	224-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 教材末に「考えよう」として2つの設問があり、展開で活用することで、生徒が考えを広げることができるよう工夫されている。「未来への扉」「学びの記録」により、心に残ったことやこれからへの思いを明らかにし確かめることができるようになっている。
- ② 「深めよう」では、話し合うことが示されていて、自分事として考えたり、交流しながら対話的な学びができるようになっていて、表現力を育むことが期待される。教材文の下にメモ欄があることで、その時感じたことを書き留めることができる。
- ③ 主体的に学習に取り組むことができるように、「学びを深める4つのステップ」として学習の進め方が示されている。「クローズアップ」により、教材に関連情報があり、学びを補充したり、これからの生き方を考えたりすることにつながる。
- ④ ユニット学習により、複数の教材を連続して学習することで、問題意識をもって臨めるように工夫されている。SNSトラブルという情報モラルなど、現代的な課題を自分との関係で捉え、自分自身の生活を見つめるきっかけとなることができる。
- ⑤ SDGsなどのユニット学習により、現代社会の様々な課題について関心をもち、これからの社会について考えることができる。復興という郷土を守る活動や外国からの転校生など、同じ年代の生徒の話題は身近に感じられ、郷土を愛する心情や国際理解を考えるきっかけとなるのではないかと考える。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

二次元コードにより、関連の動画や写真にアクセスできるようになっているので、発展的な学習につながる工夫がある。ユニット学習では、最初の2ページに「多様性」などのテーマに沿って投げかけがあり、学んだことを生かしながら次の教材へと進めることができるような配列がされている。

(3) 総合所見

「考えよう」や「深めよう」など教材の特質を押さえた発問や話し合いの活動により、生徒一人一人が考えを深められるよう工夫されていて、道徳的価値の理解を図ることに期待される。教材名の下にキーとなる文があり、興味を引くようになっているが、道徳的価値に関するものだけではないので、導入で活用されにくいのではないかと懸念される。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科 道徳	種目	道徳			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
				1年	2年	3年
232 あかつき				232-73	232-83	232-93

(1) 内容の特徴及び表現

- ① どの教材も「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「考えを深める」の3つのうち2つで発問が構成されているため、生徒がやるべきことが簡潔でわかりやすいものになっている。巻末に「学習の記録」欄があり、学期ごとの振り返りと1年間のまとめをすることができる。
- ② 「Thinking」では、生徒が教材と関連付けて自分自身の生活を振り返ることで、学習内容と自身の生活を関連付けて考えることができるほか、コラムを通して関連分野に対する理解を深められるものとなっている。また、「マイ・プラス」では、多面的な見方やロールプレイができるような工夫がなされている。
- ③ 4コマ漫画やアニメ、オリンピック選手や著名人など、生徒にとって身近な題材を取り扱うことで、生徒の興味を一層引くものになっている。また、二次元コードやURLから教材に関連する情報が見られるようになっており、補充的・発展的な学習に役立てることができる。
- ④ 教材と関連付けて「生活習慣チェックシート」や「スマートフォン依存度チェックシート」が掲載されており、生徒が自分自身の生活を振り返り問題発見ができるような手立てがなされている。また、各教材の「自分との対話」を通して、学習したことを自分事として考えられるようになっている。
- ⑤ 巻末付録としてSDGsと日本各地の伝統文化に関する特集が組まれており、三年間を通して継続的に郷土や国際社会について考えられるようになっている。また、キャリアに関する教材を扱うパートはユニット扱いとなっており、豊富な教材を通して玉野市の生徒が多様な進路や生き方を学ぶことが期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

写真やイラストを大きく掲載したり、登場人物を欄外に整理したりすることで、生徒が教材の内容や場面をより想起しやすいような構成になっている。本文の文字はUDゴシックで統一されており、どの生徒にとっても読みやすいよう配慮がなされている。また、各ユニット学習の最初には、テーマについての問いがあることで、生徒が見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。

(3) 総合所見

発問とともに考えるべき視点が示されているため、どの生徒にとっても考えることが明確となり、わかりやすい様々な工夫がなされている。また、「マイ・プラス」では、段階を経ながらよりよい生き方を考えるきっかけとなる工夫がなされている。さらに、生徒同士の交流やロールプレイングを行うことで、多様な価値観に触れられるようになっている上、教材の最後にある「自分との対話」を通して、道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、探求していくことができる。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科 道徳	種目	道徳	
発行者番号・略称				教科用図書番号
233 日本教科書				1年
				2年
				3年
				232-72
				232-82
				232-92

(1) 内容の特徴及び表現

- ① どの学年も最初に「試してみよう」や「ウォーミングアップ」のページが設定されており、話し合い活動の手順を確認しながら生徒同士で意見交換の練習ができるようになっている。また、発問は「①考えよう」「②深めよう」の2つのみで構成されているため、生徒にとってわかりやすいものになっている。
- ② 「深めよう」では、自分の経験を振り返ったり登場人物の心情を考えたりと、様々な視点から多面的・多角的に考えることができる。各学年にそれぞれ「自由」「幸福」「愛」について考える教材があり、自分の考えを友達や過去の偉人たちの考えと照らし合わせながら考えを深めることが期待できる。
- ③ 巻末の「ウェルビーイングカード」を使って、教材を読んだ後にグループでの交流を通して、多様な価値観に触れたり視野を広げたりすることができる。また、各教材の最後のページにメモ欄があり、自分自身の考えや友達の考えを書き留めることができるようになっている。
- ④ グラフや表、新聞記事等が豊富に掲載されており、生徒が事実に基づきながら考えを深めるための工夫がなされている。また、二次元コードから教材に関連する動画を視聴したり、各サイトにアクセスしたりすることができるため、学習内容をより深めるための支援ツールとしての活用が期待できる。
- ⑤ 全学年を通じてキャリアを扱う教材が豊富であり、生徒が多様な視点からキャリアについて考えることが期待できる。また、巻末には「わたしたちの郷土」と題して、各地域の特色や偉人の紹介があり、その中に玉野市の藤の花もあるため、玉野市の生徒が郷土について理解を深める機会となると考えられる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

教材の並びが内容項目順になっており、各セクションの扉ページには4コマ漫画が掲載され、生徒の興味を引くような工夫がなされているが、学期ごとに内容項目の偏りが出ないよう教員側の工夫が必要かもしれない。また、横書きの資料が多く、読みづらさを感じることも懸念される。

(3) 総合所見

全体的に色味を抑えたシンプルな構成となっており、情報量を絞ることで生徒が集中して教材を読めるような工夫がなされている。多面的・多角的に考える発問を通して、生徒がこれからの自己の生き方を主体的に考えることが期待できる。「ウェルビーイングカード」は、話し合い活動に有効ではあるものの、切り離れたカードの管理に工夫が必要である。